

シニアの地域おこし協力隊の事例

基本情報

【年齢】
59歳
【出身地】
北海道 札幌市
【転出元】
宮城県 仙台市
【前職】
FMアナウンサー
【活動時期】
R3.4.12～R6.4.11
(1年目)



協力隊に応募したきっかけ

三笠市の自然とおいしい農産物の魅力に惚れこみ、いずれは三笠市に移住をしたいと考えていました。

いざ移住を決め、三笠市での仕事を探していたところ、地域おこし協力隊で移住定住PR部門の募集があることを知り、三笠市の魅力をもっと多くの人に伝えたいと思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

三笠市の認知度を高め、移住に興味を持って貰いたいです。また、活動を通じてSNSなどを活用した発信力を高め、任期後も自分なりに三笠市の魅力発信を続けていきたいです。

活動内容

●移住定住PR動画「みかさぐらしチャンネル」

移住者のリアルな暮らしや三笠市の魅力を移住者目線で取材・編集し、動画で発信しています。



●移住相談

市役所の移住相談窓口や首都圏で開催される移住フェアなどのイベントで、移住検討者の方に自身の体験を交えつつ移住に当たっての心配事、悩み事の相談にのっています。



●地域イベント出演

地域イベントのトークショーなどに出演し、前職で培ったトークスキルを発揮して、三笠市の魅力を多くの人に発信しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) teijyuuk@city.mikasa.hokkaido.jp
(電話番号) 01267-2-3182

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

YouTube :

https://www.city.mikasa.hokkaido.jp/mikasalife/detail_sp/00010990.html

基本情報



【年齢】
51歳
【出身地】
神奈川県川崎市
【転出元】
東京都江東区
【前職】
システム開発
【活動時期】
R2.10.1～

協力隊に応募したきっかけ

仕事の関係で仙台によく来ていた関係でたまたま立ち寄ったところ、とても環境が良かったからです。妻にも紹介したところ大変気に入ったため、こちらで仕事を探しました。

今後の抱負・任期後の目標

この素晴らしい土地を、東京に住む多くの方々に伝えていきたいです。任期後は分かりませんが、なにかしら関わりを持ち続けられたらと思います。

活動内容

●Webサイト運用

SHIROISHIトというサイトを運用しています。イベントの報告などの記事を通して白石の魅力を発信している。今後、白石の人たちへのインタビュー記事も企画中。



●白石でのイベント開催

休校中の校舎を活用したりしながら、白石の自然に触れていただくイベントの企画・開催を行う。イベントを通して白石の自然の中で自分と向き合う時間を過ごしていただいた。



●SNS運用

地域おこし協力隊全体のtwitterアカウントやfacebookページ、個人twitterアカウントなど、様々なチャネルを使って白石の魅力発信に努めている。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://twitter.com/ShiroishiW>

基本情報



【年 齢】
57歳
【出身地】
埼玉県川口市
【転出元】
埼玉県川口市
【前 職】
会社員
【活動時期】
R2.1.1~

協力隊に応募したきっかけ

秩父のNPOにてメープルシロップの製造や限界集落サポートなどの活動していたのですが活動を通して秩父の魅力に惹かれて協力隊のことを聞き、応募を考えました。特に小鹿野町の協力隊は任期後の起業など自分のスタイルに合った活動ができ、より秩父に溶け込める活動ができることがポイントでした。前職がアウトドアメーカーでしたので、いずれは小鹿野でしかできない里山の自然を満喫していただける少人数キャンプ場の設立を考えています。地域の限界集落サポートに関しての内容も好条件でした。

今後の抱負・任期後の目標

今後は小鹿野町伊豆沢を拠点にしてキャンプ場、山椒・柚子の栽培を確立し、小鹿野の自然と里山保全をテーマに起業を目指します。山椒に関しては小鹿野地域ブランド化できればと考えています。地域おこし協力隊の活動を通して小鹿野町内外の方々との交流も育まれてきたので、色々な方々の橋渡しとして貢献できればと思っています。

活動内容

●移住促進・関係人口創出活動

ワークショップ、イベントなどの企画、立案、準備運営作業、小鹿野町内でのお手伝い活動（イベント準備、開催協力など）、秩父地域での協力隊交流活動（イベント、ワークショップ参加など）

地域での活動としてワイナリーのお手伝いや柚子や山椒のワークショップの開催、町内在住の芸術家の方の個展開催の展示などのサポートをはじめ、小鹿野町外でのイベントなどへも精力的に参加させて頂いています。町内に関心のある大学生の卒論サポートなど多岐にわたり、町内外問わず活動させて頂いております。



●キャンプ場設立準備活動

現在、町内伊豆沢にてキャンプ場開設の準備を行いながら、伊豆沢・飯田地区にて山椒、柚子の栽培を行っております。また、町内外の有志の方と柚子、山椒栽培をはじめ里山保全のグループ「小鹿野里山倶楽部」を立ち上げお手伝い頂いております。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(電話番号) 0494-75-4197 (小鹿野町役場総合政策課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

facebook [個人](#)

<https://www.facebook.com/sasaki.hitoshi.71/>

[小鹿野里山倶楽部](#)

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100083300044471>

基本情報



【年齢】
53歳
【出身地】
茨城県ひたちなか市
【転出元】
長野県諏訪市
【前職】
不動産販売営業
【活動時期】
R3.3～

協力隊に応募したきっかけ

前職で移住定住の業務に携わったことがあり、その経験が生かせると思ったのが、きっかけです。

今後の抱負・任期後の目標

今後は、YouTube・ツイッター・ブログなどSNSを相互リンクさせて、より移住者のお役に立つ情報を立体的に発信していく予定です。

任期後は、SNSによる独立起業を考えています。

活動内容

● YouTubeでの移住定住促進の情報発信

「森乃暮らしチャンネル」
令和3年3月24日～動画投稿スタート。
姫木平別荘地での実際の生活の様子を中心に、今まで330本以上の動画を公開しています。



● ツイッターでの移住定住促進の情報発信

「森乃暮らし」（アカウント名）
令和3年3月より、投稿スタート。
姫木平別荘地の気温や雪の情報などを中心に、退任後の独立に関する情報なども発信しています。



● 森乃暮らし移住相談室

別荘地への移住の相談を、自宅とオンライン（Zoom）を使って行っています。
YouTubeを見た視聴者様からの申し込みがほとんどです。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（森乃暮らしチャンネル）
<https://www.youtube.com/channel/UCN35zibiGTbLrFMY2wWrUWA>

基本情報



【年齢】
59歳
【出身地】
愛知県豊田市
【転出元】
愛知県豊田市
【前職】
カフェ営業
税関
【活動時期】
R4.6～R7.3
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

前職の税関職員として33年間の在職中に、二度静岡県で勤務する機会がありましたが、引っ越しを伴う最初の転勤が浜松市、そして在職最後の転勤が静岡空港のある牧之原市と、静岡県で始まり静岡県で終わるといふ、静岡県には不思議な縁を感じておりましたので、そのお世話になった大好きな静岡県で何か恩返しができないかと考えるようになりました。そろそろ人生も後半戦に差しかかり、何かで地域のために恩返し（社会貢献）できたらと思っていましたが、本格的な田舎暮らしではなく、都会とのアクセスもよくインフラも整備された「ほどよい田舎」での生活を希望していたところ、海と山に囲まれ自然も豊富で、趣味のサーフィンも出来そうな伊東市が地域おこし協力隊を募集していることを知り応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

色々なところへ積極的に足を運び、出来るだけ多くの人と会って交流を深めたいです。その中で、年齢を問わず伊東で人生を楽しんでいる魅力的な人達と一緒に活動し発信を続け、「伊東には何やら楽しそうな人がたくさんいるぞ」という点が拡散すれば、伊東ファン（関係人口）の増加にも貢献できるのではないかと考えています。シグラス作家としても活動していますので、シグラスや、流木、マイクロプラスチックなどのゴミを使ってアート作品を作る子供向けのワークショップを開催したり、大好きな海を守るためにビーチクリーンを中心とした環境活動にも力を入れ、伊東市が「自然に優しいまち」「SDGsにも配慮しているまち」であることを積極的に発信し続けです。

活動内容

●移住定住特設サイトでの情報発信

伊東市の移住定住促進の情報に特化したホームページ「伊東市移住定住サイト」の情報更新をしています。具体的には、移住相談会や移住体験ツアー等のイベント情報の更新のほか、自分が伊東市内で体験したことのコラムの更新等を行っています。



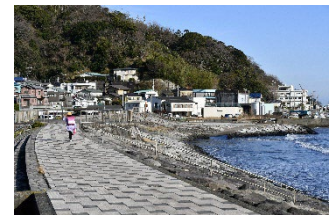
●移住相談対応

市役所窓口や電話、メールで寄せられる移住相談の対応をしています。また、定期的に東京都内で行われる移住相談会や移住セミナーにおいても、移住検討者の相談対応をしています。



●移住イベントの企画・運営

移住体験ツアーの企画・運営をします。移住を検討者されている方に対して、より具体的に伊東市での生活をイメージできるようなツアーを企画するとともに、先輩移住者との交流の機会も設けて、人と人の繋がりづくりにも力を入れています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram : @glassmans

基本情報



【年齢】

61歳

【出身地】

埼玉県川口市

【転出元】

東京都世田谷区

【前職】

流通コンサルを20年行った後、設計事務所（大手デベロッパー依頼による集合住宅のデザイン監修業務）にて役員を10年余り、その後伝統工芸の織元の広報を1年半経験。

【活動時期】

令和元年.11.1～

協力隊に応募したきっかけ

伊勢路を歩いたことをきっかけに東紀州の自然や人の豊かさに魅了され移住を考え始めました。

生業を作り出すには地域を知ることから始めたいと考えていた矢先に協力隊の募集を知り、年齢的なこともあり躊躇しましたがダメ元覚悟で応募させていただきました。

今後の抱負・任期後の目標

知れば知るほど、尾鷲という地域での暮らしは発見の連続で、都会では味わえない生活の豊かさを実感しています。任期後は、古道歩きや旅として訪れた方達がこの地域で暮らすことを1つの選択肢としていただけるような施設やアクティビティを提供したく、現在住まいのある三木里町で、地域の方のご協力により、施設を提供いただき施設開設に向けて準備中です。

活動内容

●空き家バンク業務

定住移住コンシェルジュとして、空き家となっていた元森林組合事務所を拠点に4名のチームで市役所の政策調整課と連携し、市内全域の空き家の発掘と利用者への紹介を行なっています。自ら移住者としてこの地で暮らす経験も役立て新しい人の流れを作っています。



●仕事バンク業務

移住交流サイト「SMOUT」を活用し、地域での就業につながる情報発信を行っています。長く快適にお住まい頂くために、住まいだけでなく生活の基盤となるお仕事や地域での人のつながりもご案内できたらと考えています。



●情報発信業務

尾鷲の魅力や地域の歴史的文化行事などをメディアやSNSを活用して広く情報発信すると共に、定住移住イベントへの参加や各種パンフレットを作成し尾鷲での暮らしの豊かさを情報発信しています。



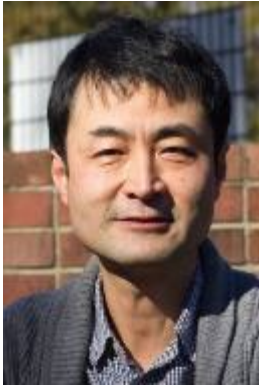
連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

HP : <http://owasegurashi.xsrv.jp/>



基本情報



【年 齢】
51歳
【出身地】
東京都練馬区
【転出元】
神奈川県松田町
【前 職】
装置制御系SE
【活動時期】
R4.4～ R7.3
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

会社員として働きながら、国内外の旅を続けてきました。旅先で、普段出会わないような人々と出会いがきっかけとなり、自分の考え方が変わる転機になりました。そのようなきっかけがあるような、地域住民と旅人による交流型宿泊施設開業を目指しており、島、農的な暮らしをキーワードに場所探しをしてました。今治市協力隊がフリーミッションであり、環境も希望とマッチするため応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

①果樹など農園&交流型宿泊施設を拠点として、非日常的な空間で人と人の交差点のような場をつくること。②集落の食堂、店舗、地域住民などと連携、「まち宿」のようにすること。それらの活動を通じ、人が自分の可能性に気づき、それぞれがしたいことに向け、歩み、応援しあえる社会にすること

活動内容

●学びの場の創出

プログラミング教室など、地域で機会が乏しいジャンルの学びの場の創出



●地域魅力UP&地域住民交流の場の創出

①野外シネマ企画など、地域魅力UP活動、②たき火企画など、地域住民同士の交流の場の創出を通じ、地域活力の1UPをめざす活動



●地域住民とともに過ごす活動

①児童館、地域住民が集う施設、B&Gなど、地域住民が交流する場の運営お手伝い、②地域ローカルメディア編集、稲作、果樹農園、柑橘栽培、地域清掃、伝統行事など、地域住民活動のお手伝いを通じ、地域住民とともに「過ごす」活動



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス)

(電話番号) 0897-72-8772

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
momo_kyoryoku(Instagram)

基本情報



【年齢】
50歳
【出身地】
大阪府 大阪市
【転出元】
大阪府 大阪市
【前職】
NPO職員
【活動時期】
R2.4～ R5.3
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

協力隊への応募にあたっては、協力隊としての任期3年間を、起業・創業の準備期間として活用することができ、任期終了後も住み続けることのできることを考慮して、活動地域を選びました。上島町を選んだ理由は、①私がこれから生活したいと考えていた瀬戸内海の離島環境であったこと、②任期終了後の生業として予定していた地域の観光産業が、「しまなみ海道」に隣接し、これから拡大・発展していくことが見込まれたこと、③募集していたミッションが、宿泊施設の物件探しを兼ねることができ、また活動終了後にも関与して地域貢献しつづけることのできる移住・定住/空き家の領域であったことの3点です。

今後の抱負・任期後の目標

協力隊の任期が満期終了となった後の令和5年4月からの本格開業を目指して、上島町内の弓削島で空き家を改修した「ゲストハウスみちしお」の開業準備をすすめています。このゲストハウスは、地域へのサイクリストの流入増に寄与するとともに、潜在的なワーケーションとインバウンド、移住体験、地域課題解決プロセスへの参加/関係人口化の各需要の増加にそれぞれ応えていくことを目指しています。また任期中に、特定非営利活動法人かみじま町空き家よくし隊を設立し、空き家問題解決のための活動を続けるための組織的な基盤を用意しました。

活動内容

● 役場での移住・定住促進、空き家バンク運営業務

平日は8時30分から17時15分まで弓削総合支所にフルタイムで出勤し、「移住相談総合窓口（移住ワンストップ窓口）」での相談対応業務と空き家バンク運営業務を、同じミッションの同僚隊員と分担して行っています。その合間を縫って1年目から2年目に向け、町内すべての戸建て住宅を対象に「空き家実態調査」を行いました。



空き家実態調査の様子

● NPO「かみじま町空き家よくし隊」の設立と運営

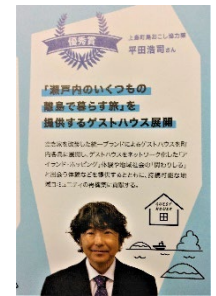
任期2年目の令和3年に、空き家の利活用促進を活動目的とする特定非営利活動法人かみじま町空き家よくし隊を町内有志とともに設立しました。町内の空き家をDIYを基本に改修してすぐに住むことのできる状態にし、移住希望者に貸し出す活動モデルとしています。令和4年度には、人口減少が急速にすすむ高井神島において、交流拠点の整備と地域計画の策定も行います。



NPO主要メンバー

● ゲストハウス展開計画「みちしおプロジェクト」の開始

これから観光産業の拡大が見込まれる上島町の島々に、回遊型/滞在型観光の拠点となる「ゲストハウスみちしお」を展開します。この計画は、愛媛県ビジネスプランコンテスト「EGFアワード2021-2022」で優秀賞を受賞しました。その1号店を弓削島で開業準備中です。これら施設は、地域課題解決の活動拠点、そしてコワーキングスペースとしても使用する予定です。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
 (協力隊活動) <https://www.facebook.com/shimakurashi>
 (NPO活動) <https://www.facebook.com/akiyayokushitai>
 (起業・創業) <https://note.com/michishio/>

基本情報



【年齢】
54歳
【出身地】
佐賀県佐賀市
【転出元】
大阪府吹田市
【前職】
マルシェ（コーディネーター）
【活動時期】
R3.4.15～

協力隊に応募したきっかけ

佐賀出身で大阪で長く暮らしていたが、Uターンを考えてた。親の年齢や子供の進学も丁度良いタイミングに、友人のSNSで偶然小城市の地域おこし協力隊の募集を知る。元々、家や地域貢献に興味があったことと、小城市の事が好きだったので、大変魅力を感じ応募。

今後の抱負・任期後の目標

地域の方と行政との中間的存在であることや、現在の経験を活かして、空き家、移住、定住のコーディネーターとして活動したいと考えています。
具体的には、空き家バンクの促進、空き家活用、移住者のフォローなどを中心に考えています。

活動内容

●おぎ移住相談窓口

小城市、牛津町、芦刈町で出張相談窓口を開催。空き家バンクや空き家活用の相談、移住や定住の相談などを受け、フォローを含めて相談者に寄り添い細やかな対応を心がけている。



●空き家バンク促進

空き家の掘り起し。家財道具や相続等の相談。必要に応じて専門家へ繋ぐ。空き家を活用したいが問題を抱えている方のフォロー。空き家バンク登録。空き家バンクの管理。



●イベント開催

「楽しもう！小城での暮らし」を合言葉に、移住茶会（座談会）、箸置きづくり、DIYワークショップ（スツール作り）、空き家出前講座、断捨離講座等開催。これらを通じて、相談窓口、空き家バンクの事を知ってもらったり、家の事を考えるきっかけづくりをしている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）akiya@city.ogi.ig.jp （電話番号）0952-37-6150(職場)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram yokadesuyo_ogi
Facebook おぎ移住相談窓口

基本情報



【年 齢】
51歳
【出身地】
静岡県 熱海市
【転出元】
愛知県名古屋市
【前 職】
自営業（居酒屋）
【活動時期】
R元. 6～

協力隊に応募したきっかけ

居酒屋を経営していた時から、自分で取った魚や野菜で料理を作ってお客様に出したいと10年位考えていました。候補地を長崎に絞り（自然が豊）I、Uターンの相談会に出席して、松島の地域おこし協力隊を知りました。私がやりたいことがミッションそのままでしたので志望しました。

今後の抱負・任期後の目標

- ・宿を軌道に乗せる
- ・小型船で釣り技術向上、素潜り
- ・島野菜をブランド化させるまた、収穫量を増やす
- ・賛同者集め定住者を増やす
- ・宿を拡張して集客力を上げる

活動内容

●松島の活性化、移住定住

- ①松島に宿の設立
- ②松島の特産品PR活動、販売
- ③松島の情報発信（HP、SNS、情報誌等）
- ④移住希望者や来島者の島の案内

<略歴>

- 2019年5月 愛知県名古屋市名東区から自営居酒屋を閉めて松島に移住
2019年6月 西海市松島地域おこし協力隊活動開始
松島の宿泊施設プロジェクト開始
2019年9月 松島島民と連携して島野菜の販売プロジェクト開始
2020年2月 松島内郷、外郷に宿のリフォームを開始
2020年8月 新屋敷、はえん風、宿オープン



連絡先

基本情報



【年齢】
50歳
【出身地】
東京都八王子市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前職】
アパレル販売
【活動時期】
R4.4～R7.3
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

旅行で度々訪れていた北海道に移住したいと漠然と考えていた際に元協力隊の方から色々なお話を伺いました。“便所の100W”と言われる明るさとコミュニケーション能力を活かし、地域の方々に喜んで頂ける仕事がしたいと子供の成人を機に思い切って応募しました。芦別の手が加えられていない街や自然の美しさが大好きで街の方々の優しさに支えられ、感謝する毎日です。

今後の抱負・任期後の目標

3年後に多目的に使用できるカフェ開業に向けて動いています。4月～星空案内人®（準案内人）・食品衛生管理者・安全衛生管理者（伐木等業務）←チェーンソー を取得。現在は、ベジタブルアンドフルーツマイスターの資格取得の為、勉強中です。店舗物件が見つかり次第、空き家の改修も行い、進捗状況をSNS等でアップしていく予定。今後は観光協会や企業とのコラボ企画（イベント・商品開発など）も出来たらと考えています。白樺細工の販売に向けての製作にも力を入れていきたい。

活動内容

●情報発信

Instagram・facebookでの情報発信業務を行なっています。芦別の魅力である「食」「自然」を中心にイベントの告知や実際に参加し、取材内容を発信しています。また市内企業の工場見学や取材させて頂いて紹介し、I・Uターン就職を考えている方に「大人の工場見学」と題してご紹介しています。



●ふるさと納税返礼品の写真撮影

スタイリング・撮影（必要に応じて調理）をさせて頂いています。ふるさと納税担当からの依頼の他に取材先の農家さんの依頼も受けています。



●その他（2022上半期）

- ・白樺細工→芦別の白樺樹皮を使用した工芸品を製作・販売を目指す
- ・そらち・デ・ビューライター研修
- ・炭鉄港レシピコンテスト応募



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

facebookInstagram



基本情報



【年齢】
60歳
【出身地】
北海道 函館市
【転出元】
北海道 札幌市
【前職】
地方公務員
【活動時期】
R4.4～

協力隊に応募したきっかけ

定年退職時期を迎え、地方での暮らしを考えていた時、せたな町役場の地域おこし協力隊の募集を知り、きれいな海、美しい夕日、美味しい海の幸など多くの魅力のある地域での暮らしを求め、協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

きれいな海、美しい夕日、美味しい海の幸などの町の魅力をブラッシュアップし、地域の観光振興・物産振興につなげていきたい。

活動内容

●せたな観光協会の運営

せたな観光協会の事務局長として、観光協会の運営を担当している。
会員事業者や町と連携を図りながら、地域の観光振興を図るとともに、道の駅での販売や催事事業への参加を通して物産振興に取り組んでいる。



●各種イベントの開催

実行委員会方式による各種イベントを開催し、住民の方々と連携し地域の活性を図っている。

- ・玉川公園水仙まつり
- ・がっぱり海の幸フェスタinわっためがして大成
- ・せたな漁火まつり



●観光宿泊者誘客促進事業の実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で落ち込んだ町内への旅行需要の回復を目的に、ラジオPRを実施しながら、宿泊事業者が観光客の宿泊代金から割り引いた金額に対し支援金を交付する町独自の観光宿泊者誘致促進事業を実施し、町内への観光誘客を図っている。




連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) 非公開 (電話番号) 0137-83-8020

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
URL:<https://setanavi.jp/>

基本情報



【年齢】
50歳
【出身地】
北海道 帯広市
【転出元】
北海道 帯広市
【前職】
道内大手企業(経理課勤務)
【活動時期】
R4.4～
【趣味】
登山・フラダンス 

協力隊に応募したきっかけ

小説家・三浦綾子さんの作品に関心があり、特に「泥流地帯」が映画化されると知り、その業務に携わってみたいと思いました。

また、上富良野町は四季折々の風景が楽しめます。中でも「十勝岳」は素晴らしい山で、毎朝景色を眺めたり、週末には登山を楽しめるなど、生涯暮らしていく土地はここしかないと感じました。

公私に渡って上富良野町を盛り上げていきたい！という思いで応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

上富良野町の情報を全国に発信し、多くの人にこの町の魅力を知ってもらいたいです。

任期後は蒸留専門家となり、町の特産品の魅力が詰まったオイルやフレグランスなどの生産・販売を通して、町を盛り上げていきたいと考えております。

また、自身の敷地に蒸留に使える花などの生産に加え、ロケの撮影スポットとしても提供できるような環境を整備したいと考えています。

活動内容

●「ロケサポートかみふらの」の運営

ロケ誘致・支援やロケツーリズムを手掛けるワンストップ窓口「ロケサポートかみふらの」の事務局を担当しています。

撮影現場の申請を行ったり、必要があればスタッフのロケ弁当や宿泊先を手配するなど、制作会社がスムーズにかつ気持ちよく撮影ができるようサポートします。



●観光PR業務

町の魅力をPRするため、イベントへの出店も業務の一つです。町自慢の味「豚さがり」を多くの人に味わってほしいですね。上富良野町をPRすることはもちろんですが、他の出店者がどのようにPRしているか、という点も非常に勉強になります。



●ラベンダー蒸留作業

町の主力商品となる「ラベンダーオイル」は、独自の製法でラベンダーを乾燥させてから抽出するため、青臭さがなく高級感溢れる香りと言われています。

そのオイルを抽出するため、蒸留作業に参加します。真夏の猛暑の中、釜の中で汗と花粉にまみれながらの作業は辛いですが、やりがいのある仕事です。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) info@ls-kamifurano.org (電話番号) 0167-45-6983

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(公式ホームページ) <https://ls-kamifurano.org/>

上富良野町
ご当地キャラクター



基本情報



【年齢】
62歳
【出身地】
東京都 杉並区
【転出元】
東京都 三鷹市
【前職】
フォトグラファー
【活動時期】
R3.4～

協力隊に応募したきっかけ

国立公園化される日高山脈について、写真家として観光・PR事業に協力できると思いました。

今後の抱負・任期後の目標

国立公園化正式決定が諸事情により延期中ですが、引き続き日高山脈についてのPR活動を行って行きます。任期後については未定ですが、村を基点に十勝～北海道と活動範囲を広げて行ければと思っています。

活動内容

●帯広空港ロビーディスプレイ

R3年9月より帯広空港出発ロビーにて、日高山脈の巨大写真プリント（1520x3560mm）を展示しています。



●村内巨大プリント写真展

R4年6月、村の文化創造センターにおいて巨大プリント（1520x2630mm）10点による写真展を開催。環境省アクティブ・レンジャー、写真連盟十勝支部とのコラボレーションによる日高山脈写真月間に発展しました。



●中札内村撮影地図制作

現在進行中の企画です。村内の日高山脈撮影絶景ポイントをまとめた地図を制作中です。道の駅等で配布して、観光に活用して頂ければと思います。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(webサイト) <https://www.lensculture.com/hitoshi-machida>



基本情報



【年齢】
53歳
【出身地】
青森県八戸市
【転出元】
青森県階上町
【前職】
二戸地域雇用創造協議会・
いわて復興応援隊等
【活動時期】
R3.1～

協力隊に応募したきっかけ

ここ十数年、いわて復興応援隊の隊員&雇用創造協議会の実践支援員として、岩手県北地域の観光振興及び雇用の創出にあたってきました。

その経験や人脈等を活かして、岩手県北地域の振興を、アウトドアアクティビティ、特に自転車を活用した観光振興、サイクリングガイドや、ジオパークガイド・トレイルガイド等をメインにして、頑張っていきたいと思い応募させて頂きました。

今後の抱負・任期後の目標

サイクリスト・キャンパー・カメラマン・オーディオマニア・珈琲愛好家等々、幅広い趣味の方が訪れたいような場所を提供、町内及び周辺市町村からのリピーターを獲得し、地域の歴史・文化・産業の紹介や、ジオパーク等のガイド、各種ワークショップの開催により、北三陸エリアの振興に繋がっていききたい。

また、任期後にも継続出来るよう、収益を確保できる仕組みや、拠点づくりをすすめていきたいと考えています。

活動内容

●サイクリングガイドや、アテンドの様子

ゴールデンウィークや、お盆期間に、サイクリスト向けのガイドや、トライアスロン愛好家の練習のお手伝いを、洋野町の魅力を発信!!



●ジオガイド&トレイルガイドの様子

旅行会社等より依頼を受け、ジオパークのガイドや、トレイルコースのガイドをおこなっています。
※右、東北エモーション



●ジオパーク普及啓発活動&各種イベントの様子

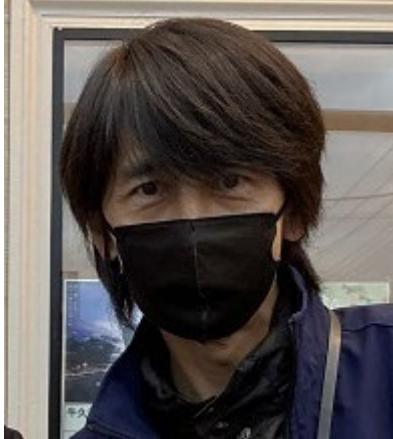
ジオパークの普及活動や、各種イベント等をおこない、地域住民&近隣市町村の誘客をすすめ、経済効果の拡大を目指します。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(電話番号) 0194-66-8870 (職場)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://www.facebook.com/k3rbase/>
<https://www.instagram.com/kitsanriku.base/charliecapa7.wixsite.com/website-1>

基本情報



【年齢】
55歳
【出身地】
東京都立川市
【転出元】
神奈川県鎌倉市
【前職】
自営業（模型製造販売）
【活動時期】
R4.4.1～ R7.3.31

協力隊に応募したきっかけ

将来茨城県に移住する為につくば市付近の市町村を調べていた際、稲敷市の地域おこし協力隊の活動を知りました稲敷市の緑豊かな田園風景や貴重な歴史的建物も現存しているのに感動致しました町の風景が美しく素敵な町という印象や地域おこし協力隊がパワフルに活動されているのをSNSなどで拝見させていただき地域を盛り上げて良い町をつくり守る思いにとっても共感いたしました稲敷市の活性化につながるやりがいのある取り組みに私も参加させていただく思いました。

今後の抱負・任期後の目標

いなしきフィルムコミッションのようなサービスを行いたいと考えております 稲敷市のPRを強化しインターネットや動画サイトで映像を活用し稲敷市を知ってもらい観光や稲敷市で暮らしてみたいと思う方を増やせたらと思っております 退任後いままでの町になかった事業をおこせたらと思っております

また、JRAトレセンが近くあり稲敷市にも馬の育成牧場が多数ございますので誰もが気軽に馬とふれ合える場所をつくりたい夢もあります。

活動内容

●稲敷市内外PR活動

稲敷市内外イベントに参加させていただいております マスコットキャラクター（稲敷いなのですけ）と一緒に地域特産品や印刷物を配布しながら稲敷市のPR。（写真/ご当地キャラ成田詣）



●稲敷市の観光資源

稲敷市内の有形、無形文化財SNSなどを活用しながら情報発信させていただいております。（写真/江戸崎祇園祭2022&江戸崎囃子連の皆さま）



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Facebook) <https://www.facebook.com/inashiki07/>
(instagram) https://www.instagram.com/inashiki_07/
(Twitter) https://twitter.com/Inashiki_07

基本情報



【年 齢】
50歳
【出身地】
兵庫県宝塚市
【転出元】
兵庫県宝塚市
【前 職】
調理師
【活動時期】
R4.6～

協力隊に応募したきっかけ

今回のこのコロナで失職をして、実家へ戻りましたが心の中でどうしても茨城県で頑張りたいと思っていたところに第1期生の村川さんの活動に出会いお手伝いをするにより感銘を受け、前職の経験を活かし自分も美浦村の良さを伝えたいと思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

今後も美浦村の旬の野菜、湖産物を使い、魅力ある料理を作って提供していきます。今後のコロナの状況にもよりますが、目標としていた美浦村に特化した居酒屋を村内で開店させたい。

活動内容

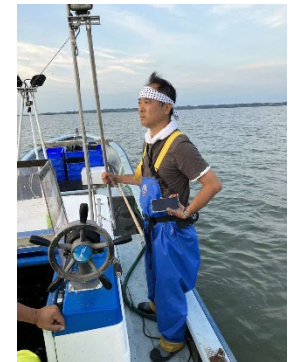
●美浦村週末カフェでかつらめしの提供

美浦村でとれた旬の野菜をメインとしたカフェ内での食事の提供。
ふれあい市場や旬の美浦村の特産物をお客様に宣伝している。



●霞ヶ浦の漁への参加

自分が漁に出ることによって、霞ヶ浦の日々の様子や湖産物の状況について知り、カフェのお客様に説得力をもって霞ヶ浦の魅力を伝えることができる。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
ツイッター インスタは 検索：かつらめし

基本情報



【年齢】
55歳
【出身地】
東京都江戸川区
【転出元】
東京都江戸川区
【前職】
IT企業 システムエンジニア、品質管理
【活動時期】
R3.10～ R6.10
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

着任の数年前から人や社会への貢献を感じられる仕事をしたい、社会課題の解決につながる活動をしたいと強く思っており、地域おこし協力隊となることで、行政と連携しつつ地域の人々に接し、自分の場づくりやITの知識を活用しながら、その地域に貢献したいと思いました。
宿泊型農業体験施設の運営の募集だったので、農業も施設運営も学びながら、地域貢献できると考え応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

現在の施設単体での集客、活性化は難しいと思うので、周辺地域と連携する必要があると考えています。
お客様にはみどり市全体を楽しんでいただくために、観光スポット、飲食店、事業者なども紹介しながら、地域および農林業、商工業、観光業の連携体制を築きたいと思いません。任期後は活動の延長として独立、事業化したいと思いません。

活動内容

●浅原体験村の運営

施設整備やレジ打ち、事務作業、そば打ち、配達作業など、日常的に人手が不足している業務を補いつつ、人手不足の解消と収益向上を目指して、業務改善の取り組みを進めています。
体制面の課題対応、改善とともにIT化を進めての効率化を図り、情報発信等による



●ワークショップ、講習、体験イベントの企画、開催(予定)

浅原体験村の資源(農園、そば打ち技術、施設)を活用したイベント(芋掘りやそば打ち体験)を実施するとともに、地域資源を活用した体験イベント(木工、林業、農業関連)、SDGs、IT/DX、組織づくりに関する講習、ワークショップなどの企画、実施に取り組む



●グリーンツーリズムの企画、開催(予定)

地域住民、地域事業者、商工会、観光物産協会との連携を図り、地域外の人々の受け入れ、案内体制態勢を築き、地域案内とワークショップ、体験イベントを組み込んだグリーンツーリズムの企画、実施を目指す。



連絡先

[フェイスブック] <https://www.facebook.com/makoto.miyashita.75>
[インスタグラム] https://www.instagram.com/mackt_delux/
[ツイッター] https://twitter.com/mackt_delux

基本情報



【年 齢】
50歳
【出身地】
滋賀県高島市
【転出元】
大阪府和泉市
【前 職】
会社員（海外営業）
【活動時期】
R4.2～

協力隊に応募したきっかけ

R3年11月に参加した、農業体験をきっかけに由良町を知り、この町で出来ることはないかと由良町役場に相談したところ、地域おこし協力隊を紹介され、R3年12月末で20年間在籍した会社を退職し、R4年2月より着任。

今後の抱負・任期後の目標

由良町の観光促進と、就農希望者を集めること。

今後は特にインバウンドの受入及び、製品の海外輸出も視野に行動していきたい。

任期後の目標は、上記で培った人脈、知識をいかし地元で貢献できるような事業を起こすか、それらを実践できる企業への就職。

活動内容

●教育旅行受入

・旅行会社及び、地元旅館、体験事業者との折衝及び、訪問時のアテンド全般。



●教育旅行誘致キャラバン（愛知県、広島県）

・和歌山県主催のスクールキャラバンに参加、中学校、高校への営業活動。



●ムラ暮らしインターン事業 受入業務

・昨年参加した、農水省事業の受入業務、参加者の選考から、地元農家、宿泊先との折衝及び、訪問時のアテンド業務全般。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram アカウント名 :temu908

基本情報



【年齢】
60歳
【出身地】
広島県三原市
【転出元】
東京都大田区
【前職】
飲食店 経営
【活動時期】
R3.4～

協力隊に応募したきっかけ

大島の不動産情報を集め 最高のフランス料理店を建築する為。

今後の抱負・任期後の目標

ヨーロッパの田舎町にあるような みんなが集えるレストランを造り 国内外からの観光客の方にも来店していただく。

活動内容

●「食材」x「眺望」x「建材」 = テロワール

瀬戸内 大島の誇る食材や多島海などの地域資源 多種にわたる季節のフルーツ 島内の自然で育ったジビエ食材 素晴らしい魚介類を活用し しまなみのフランス料理を仕上げ マスコミや観光客の方に情報発信する。



●狩猟採集の料理

地域の有害鳥獣駆除に携わり 大島のジビエ食材の素晴らしさも伝わるような 狩猟採集の料理 ストーリー性のあるお皿を完成させ レストランで提供する。



●大島の東西を結ぶ「線」

隈研吾氏に店舗設計をお願いして 大島の隈デザインの亀老山展望台とレストランを 観光客の方が行き来して頂けるような新時代の commons の提示をしていく。



連絡先

基本情報



【年 齢】
54歳
【出身地】
京都府
【転出元】
奈良市
【前 職】
外食サービス業
【活動時期】
R2.12.1～ R5.11.30
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

長年、ニュージーランドという自然に恵まれた国に住んでいましたので、日本でも環境の良い所で生活したいと思いました。ニュージーランドで経営していた店で波佐見焼を使っており、窯業、農業、観光業が盛んな波佐見町に興味を持ちました。新しい地でワクワクしながら自分自身が楽しみたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

枠にとどまらず、新しい視点で幅広く魅力を発見・創出をしていきたいと考えています。長年、外食関係に従事してきたので、食に関することや何もない自然しかない国での生活経験と外国での経営者としての視点や経験が役に立てるのではないかと思います。また、よそ者の視点では、ほかに負けないと思っています。

活動内容

● 鬼木古民家改修、企画運営、提案

鬼木の棚田にある児童文学者であり波佐見町名誉町民でもある福田清人氏の生家の改修、企画提案、運営を行います。
民泊と地域・観光のコミュニティ拠点として活用予定です。



● 花企画

鬼木の棚田も農業従事者の高齢化が問題になっており、今後も休耕地・耕作放棄地が増えることが予想されます。それらの有効活用のため花を植えることを始めました。観光資源として、またニホンミツバチ養蜂の蜜源として新しい特産物の創出を試みています。



● 廃石膏の再利用・有効活用

波佐見焼を作るうえで排出される石こう型。波佐見町では年間約700トンの産業廃棄物として、数十年来の問題。それらを植木鉢やキャンドル・ホルダー、冷蔵庫マグネットなど、新しい売れる商品として企画・提案します。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) Yasuyuki-kobashi@town.hasami.lg.jp
(電話番号) 0956-85-2162

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram) hasami833chiikiokoshi
(facebook) hasami.chiikiokoshitai

基本情報



【年 齢】
51歳
【出身地】
愛媛県
【転出元】
北海道札幌市
【前 職】
アーティスト
【活動時期】
R3.7～R6.3
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

湧水町で開催されている、チェーンソーアート大会に出場したことがきっかけで湧水町を知り、林業が盛んな湧水町でチェーンソーアート制作活動を通して町の活性化をしたいと思い応募した。

今後の抱負・任期後の目標

豊かな森林資源を活かして、森の中のあらゆるところに作品を展示し、森一体が美術館であるような空間を作りたい。
また、地元の大手木材メーカーとコラボし、CLT材を使用した、観光のシンボルとなるような巨大オブジェの制作を計画している。
さらには、林業の担い手確保のため、芸術活動を行いながらチェーンソーアートを通じて森林環境の教育(木育)活動を行っていきたい。

活動内容

子どもたちとのふれあい

町内の幼稚園や小中学校で、園児・児童・生徒らとチェーンソー試し切り体験や、共同で作品を制作する機会を設けて活動を行った。



観光PRや地域活性化としてのベンチ制作活動

湧水町にゆかりのあるものをベンチ作品として制作し、鹿児島空港や全国和牛能力共進会のイベント会場等に設置し町のPRを行った。また、農村地域にも米俵をモチーフにしたベンチを設置するなどの活動を行った。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(電話番号) 0995-74-3111(湧水町役場)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://tree-spirits-art.com>

基本情報



【年 齢】
54歳
【出身地】
北海道黒松内町
【転出元】
東京都墨田区
【前 職】
会社員
【活動時期】
R4.4～ R7.3
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

黒松内町出身。

東京で長く飲食業界に勤務し、新店舗立ち上げや新メニュー開発に携わってきた。

これまでの調理経験を活かして地元で貢献したい気持ちが強くなってきたところに、地域おこし協力隊の募集を知り、応募した。

今後の抱負・任期後の目標

黒松内のレストランで勤務しているので、町内や周辺地域の食材を使用したメニューを考案していきたい。

地方で常に人材不足。お客様だけでなく、若い後継者が来てくれるような、料理人にとっても魅力的なレストランづくりを進めたい。

活動内容

●地元食材を活かした新メニュー開発

町内で新規就農した移住者が生産しているアングス牛の牛肉を使用し、町の新たな特産品となるような新メニューの試作に取り組んでいる（写真上は口コモコ丼）。

また、町内農家から「自分が作ったサツマイモを使用した新メニューを考案して欲しい」との依頼を受け、『さつまいものマッサマンカレー』を試作（写真下）。好評だったため数量限定ながらレストランで提供することが決まった。北海道農政部が主催する『畑の新顔デビューフェア』にも参加予定。

今後もジャガイモや小麦などの町内産の農産物や、近隣の海産物などを使用した新メニュー開発に取り組み、「黒松内ならではの」新グルメ考案を目指す。



●多国籍なメニューの提供

東京の有名タイ料理店で総料理長となった経験を活かし、町民がなかなか食べる機会の少ない本格的なタイ料理をレストランで提供（写真はガバオライス）。

イタリアン、中華料理の経験もあり、町民のニーズに沿った豊富なメニュー展開を目指していく。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

黒松内町役場 企画環境課

(メールアドレス) kikaku@town.kuromtsunai.hokkaido.jp

(電話番号) 0136-72-3376

基本情報



【年齢】
57歳
【出身地】
宮城県仙台市
【転出元】
宮城県仙台市
【前職】
会社役員
【活動時期】
R2.4～

協力隊に応募したきっかけ

岩手県に再生可能エネルギーに力を入れている面白い町があるよ！と宮城県の方からお話があったのが、令和元年の9月。

一度見てみたい！と10月に初めて訪れた時に町の可能性を感じました。再エネの活用、特産物もいろいろありこれらを生かした町おこしが出来るのではないかなど魅力を感じました。特に担当者の熱意によるものが大きかったと思います。飲食業を33年営んでいた経験もあり活性化に生かせるのではないかな！と思いました。

今後の抱負・任期後の目標

今まで以上に町の活性化に力を入れていきたい。
再エネ、特産品、販売促進などもっともっと頑張りたい。

任期終了後は仙台と軽米両方を拠点にした活動をしていきたいと思っています。

活動内容

●新商品開発

新商品開発はいろいろ取り組みました。ご当地ラーメン、炭火焼き鳥、ひえ味噌チョコアイス、ガレット、リンゴジュース、ご当地コロックなど地元の業者さんとの意見交換を積極的に行いました。
(写真は炭火焼き鳥をイベントで販売した時)



●広報活動 メディアに出よう！

メディアには大変お世話になりました。「わが町バンザイ」「ふるさとCM大賞」「Go Go いわて」などに出演させていただきました。また、町の「かるまいテレビ」の地域おこし隊の「wonderful time」というレギュラー番組にも出演させていただき、情報発信を行っております。



●地元高校生と地域探求

地元軽米高校生の「地域探求」の時間にアドバイザーとして参加しております。地域が抱える課題や特産品開発、イベントの構築など高校生が考えたアイデアにアドバイスを送り盛り上げて行く時間です。10月に中間発表を行いました。
(写真は駄菓子屋をやろう！を成功させたチーム)



連絡先

Facebook <https://www.facebook.com/yukio.kanno1>
Instagram <https://www.instagram.com/yukio.kanno/>

基本情報



【年齢】
50歳
【出身地】
静岡県三島市
【転出元】
静岡県長泉町
【前職】
会社員
【活動時期】
R3.10～R6.9
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

面白い事業と感じ、現在の仕事となっている「海藻の陸上養殖」に興味を感じ、「職種」で応募しました。今までの経験も生かせる事も重なり、協力隊の一員として活動しています。南三陸で隊員となり、すごいなあと感じているのは、地元と移住した方々が環境や研究、事業創出、賑わいなどで盛り上げながら被災地を治癒していく姿に仕事で選んだ私も協力隊になってよかった、と思っています。

今後の抱負・任期後の目標

協力隊2年生として海藻をより身近な物として広げたいと考えています。2023年初夏には、海藻をコンセプトにした実店舗が南三陸町にオープンします。海藻に興味を持ってもらう事と同時に環境を学ぶこと、そして海と山の豊かさを持つ南三陸を知ってもらいたい！その動きを海藻を介して国内外へ情報を発信していける1年にしたいと思います。

活動内容

●もくろむ/つたえる

私の職名。「海藻」をもっと身近に使ってもらうために様々な商品開発や企画、販売を担当しています。三陸産の海藻と県内産のバターを使った「三陸海藻バター」は、調味料としてレストランや料理教室など幅広く活躍中！



●海藻を、新たに。

海藻を使う視点を変えて、和洋折衷だけでなく焼菓子へも試み、テスト販売を重ね、南三陸の洋菓子店の協力のもと商品化した「海藻バターサブレ」は、発売初日からリピーターが出てくらのファン率が高い美味しい逸品です。



●つながる。そして、ひろがる

2022年5月から新しい海藻食を広げるため、首都圏のマルシェに出店しています。その中でつながった企業とのコラボ商品の開発をはじめ、海外の海藻事業や海藻食をリンクし、「海藻を、新たに」の商品を広げていきたいと思っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) k.Yamaguchi@season-s.com
(電話番号) 0226-36-2311 (株式会社阿部伊組)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(FB) <https://www.facebook.com/keoghpiyo>

基本情報

【年齢】
60歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前職】
会社員
【活動時期】
R2.7～R5.6
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

会社員時代（東北エリア勤務時）に仕事で河北町に訪れる機会があり、地元の方々から多くのご支援を頂戴しました。その際に河北町の特産品である紅花の可能性に魅せられたことや、ご支援いただいた町の方々へ恩返ししたいと思ったことから協力隊へ応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

- ・紅花を活用した商品開発での成果を出し、たくさんの方の手に届くよう情報発信すること
- ・開発した商品を事業化させるための計画を作成すること
- ・任期終了後の起業に向け準備すること

活動内容

●「かほく紅こぎん」周知

令和3年3月に紅花染めをした木綿糸であしらったこぎん刺しである「かほく紅こぎん」のブランドを立ち上げて頂きました。その周知活動として“雛と紅”タペストリーを作成するため作品を公募したところ1045枚もの作品が集まり、町民の皆さんと協力してそれらをつなぎ合わせ、完成したものを令和4年4月～7月まで展示して多くの方にご覧いただきました。



●「かほく紅こぎん」普及

「かほく紅こぎん」のさらなる周知イベントとして令和4年12月3日・4日に「かほくKOGIN FES - 5つのkogin展-」を開催する予定としています。イベントではこぎんにまつわる5つのプログラムを企画しており、こぎんで作られた二大タペストリーの展示やワークショップの開催により、幅広い方々にこぎんを体感していただき「かほく紅こぎん」の普及に努めていきます。



●紅花水耕栽培支援他

町では紅花の季節以外でも活用できるよう紅花のハウス内水耕栽培に取り組んでおり、そのサポート活動として育成状況のSNS投稿やPR活動等を行っています。また、紅花の活用の幅を広げるため食用メニュー開発に取り組んでおり、山形大学の学生から協力してもらいながら学校給食メニューに「紅花若菜ごま和え」を採用してもらいました。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram: kahokubenikogin
Facebook 藏本善一

基本情報



【年齢】
53歳
【出身地】
東京都練馬区
【転出元】
東京都練馬区
【前職】
SE（金融・気象など）
【活動時期】
R4.4～

協力隊に応募したきっかけ

30代の頃から自然の中に身を置いて暮らしたいと思っていました。自然豊かな山の暮らしを地域の方から学び、自分がこれまで経験してきた植物療法にかかわる蒸留や活用方法などの知識や経験を生かして、早川町の豊かな植物資源を地域おこしに繋げていくことができると思い、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

最近全国的に盛り上がっている「クラフトジン」のレシピを考案したり、ハーブガーデンを蜜源とした日本みつばちの養蜂にもチャレンジしたいです。町で暮らしている人達が、交流したり少し癒されたりするようなコミュニティスペースやイベントを企画して、移住してきた私自身が楽しく豊かに暮らしている様子を発信することで、少しずつ早川町のファンが増えたらいいなと思っています。

活動内容

●香り蒸留事業

早川町の豊富な針葉樹や芳香植物を原料として蒸留し、精油、ミスト、など特産品としての商品開発を目指しています。温泉地でもあるので、サウナの口ウリュウで使用できるアロマ水や香りの石けん、ご当地コスメなども開発していきたいです。



●雨畑ブラックシリカの硯以外の商品開発

良質な硯石としての雨畑真石の伝統文化を守りつつ、高い遠赤外線放射率を持つ特性を活かした硯以外の商品開発、お土産品としてのアクセサリ製造を通じて、近隣市町村の工芸品とのコラボ商品（甲州和紙）なども開発していきたいです。



●無農薬の早川町産緑茶・紅茶の普及

早川町には茶畑があり、小規模の製茶工場もあります。無農薬栽培で多くが自家用となっていますが、大変貴重であり、また水が豊かで美味しい早川町なので、町内産の緑茶や紅茶を、美味しいお水で淹れて提供できたり、植物染めやリース作りなどクラフト体験などができるスペースを作っていきたいです。



連絡先

【連絡先】
バーデンガーデン
（作業場所）409-2727 山梨県南巨摩郡早川町薬袋274

基本情報



【年 齢】
50歳
【出身地】
島根県松江市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前 職】
個人事業主
【活動時期】
R4.5～

協力隊に応募したきっかけ

今まで培ったECサイト及び実店舗での営業スキルを活かし、三朝町の農林産物の販路拡大に繋げることができると考えました。

これまで、日本の製品を海外に販売する事業を取り扱っていたため、三朝の商品を国内だけでなく、海外にも販売することを目標にしています。

また、三朝といえば「観光の町」、「温泉の町」です。農林産物に限らず、幅広く情報発信に取り組みたいと思います。

今後の抱負・任期後の目標

三朝町での活動も半年が経過し、町のことが分かるようになってきたと実感しています。農林産物を県外・国外の方に知ってもらおうと思ったら、売り手の自分自身がその良さを熟知している必要があります。そのため、まずは地域に出て行って、町を知ること全力を注ぎました。

今後は、外にも目を向け、ミッションである販路拡大に力を入れていきたいと考えています。まずは、既存商品の販路拡大に力を尽くしますが、ゆくゆくは商品開発にも取り組みたいと思います。

活動内容

●農林産物の販売・販路拡大

三朝町特産品の「神倉大豆」を使った商品は、「神シリーズ」と銘打った加工品として、納豆、豆腐及びどら焼きなどが販売されています。しかし、どの商品も消費期限が短いことやブランドの確立が不十分であるため、県外への販路が乏しい現状です。そこで私は、関西圏を中心に販路の拡大、新規の商品開発を地元企業と連携して、取り組んでいます。ゆくゆくは、海外にも販路を開拓していきたいと考えています。



●町の魅力を情報発信

三朝町は日本遺産【三徳山・三朝温泉】に代表される観光と豊かな自然を活かした農林産業の町として知られています。これらの“すでに知られていること”だけでなく、普段の何気ない生活の中で感じられる町の良さも含めて、SNSを通じて、情報発信に取り組んでいます。

また、昨今では紙・チラシだけでなく、動画を活用した周知が効果的であるため、動画コンテンツの作成にも力をかけていきたいと思います。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) kikaku@town.misasa.tottori.jp
(電話番号) 0858-43-3506

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(instagram)

<https://instagram.com/misasachiikiokoshi?gshid=YmMyMTA2M2Y=>



MISASACHIHIKOKOSHI

基本情報



【年 齢】
56歳
【出身地】
広島県広島市
【転出元】
広島県広島市
【前 職】
自営業（飲食店）
【活動時期】
R3.4～R6.3
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

自分の子どもや家族に安心して食べてもらえる食をより多くの人に提供したいという想いをもちながら広島で20年間飲食店を営んできた。安心安全で魅力的な食材を求めて様々な場所を訪れる中で、邑南町の食材や生産者に惹かれてここで暮らしたいと考えるようになった。

今後の抱負・任期後の目標

自分が感じた町の素晴らしさを都市部に住む仲間に伝えていきたい。そのために、都市部の人たちがそうした魅力に触れることができるような滞在拠点をつくることが重要と考えており、既に副業として飲食店兼宿泊施設として営業を始めた。町内の生産者や事業者の元での研修を通して関係を構築すると共に自分の取組みが地域の方々にとっても有益ものとなるよう勉強していきたい。

活動内容

●農業研修

食材の生産に関する知識習得のための座学や試験ほ場での実習に加え、町内の農家で実際の栽培作業に従事することで、高齢農家の人手不足対策と自身の栽培技術習得に取り組んでいる。



●町内事業者研修

酒蔵、鯉養殖場、野菜生産者など町内の様々な生産・加工現場での研修を通じて町内食材についてより深く学びながら、起業に際して食材等の仕入れがスムーズに行えるよう生産者等との関係構築に取り組む。



●各種講座への参加

イタリアン、和食、スイーツなどの講座のほか、A級グルメや里山資本についての座学を通じて、地方で食に携わることの意義や協力隊として邑南町で活動することの意味について知見を広める。



連絡先

基本情報



【年齢】
56歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前職】
会社員
【活動時期】
R3.7～(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

早期退職を機に出身地の札幌市に近く、家から海に沈む夕陽がきれいに見られる土地が見つかった厚田への移住を決断。

今までは会社中心の生活で地域コミュニティ活動には一切関わって来なかったのですが、退職後は地域に溶け込み、地域に役立つことをしたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

昨年は1年目でどんな活動をしたらいいのかもわからず、また、コロナで様々な地域行事が中止となり、ほとんど活動できなかったのですが、2年目の今年は夏に地域に人達が気軽に集まって話ができる「広場」を作ってみたり、東京で厚田をPRするイベントを開催したりしました。冬には豪雪を活かし、イグルー作り体験も実施してみたいと考えています。退任後は家庭菜園でもしながらのんびり生活しつつ、地域活動のお手伝いは積極的に行っていきたいと思っています。

活動内容

●あつた広場・もうらい広場

厚田には市街地に夜営業をしている飲食店がなく、大人のたまり場がないというのが課題のひとつ。

そこでお寺の境内を借りてイスとテーブルを用意し、食べ物と飲み物は持参して、青空のもと昔話や近況などを話しながら、盛り上がりました。

地域活性化のヒントもたくさん出てきました。



●愛宕マルシェ

東京港区の愛宕神社の例大祭に合わせて、愛宕マルシェ「第一回お国自慢市」北海道石狩市厚田編を開催しました。

写真・ポスター・動画を使って石狩/厚田の魅力を伝えると共に、旬の鮭・イクラを含めた特産品を使った料理を提供し、厚田をPRしてきました。



●地域振興団体の活動サポート

厚田には「移送」・「除雪」の2つの地域課題に取り組んでいるNPO法人あつたライフサポートの会があります。

今年は記録的な大雪だったので、「除雪」依頼件数も相当あり、一緒に活動をさせていただきました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) a-chiikis@city.ishikari.Hokkaido.jp
(電話番号) 0133-78-2012

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Facebook) <http://ja-jp.facebook.com/ishikari.chiikiokoshi/>

基本情報



【年 齢】
57歳
【出身地】
愛知県一宮市
【転出元】
東京都狛江市
【前 職】
広告会社
【活動時期】
R3.9~
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

前職の広告会社を退職し、第二の人生を自然豊かな「ひがし北海道」で暮らし、今までの経験を生かして地方活性化に貢献したいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

残りの任期で、さらに村の課題を見極め、課題解決に向けた取り組みを実施していきたいと思っています。
任期後はその課題解決を担う活動をしていきたいと考えています。

活動内容

● 自転車によるまちおこし

鶴居サイクルスポーツ振興会 事務局員として、

- ・ サイクルイベント企画実施
- ・ レンタル自転車事業立ち上げ を実施。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(電話番号) 0154-64-2100

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

https://twitter.com/tsurui_official

<https://vrev-t.com/>

<https://famispo-up.com/>

https://twitter.com/famispo_up

基本情報



【年齢】
50歳
【出身地】
青森県 弘前市
【転出元】
静岡県 伊東市
【前職】
ペンション経営
【活動時期】
R元.7～ R4.6

協力隊に応募したきっかけ

20年間伊豆で家族とペンションを経営してきましたが、40代後半となり、私の出身地である弘前への移住を考えるようになりました。相馬地区で、現役協力隊員のお話を聞いた時にうなずける点が多くあり、現在取り組んでいることが活かせるのではないかと考えるようになりました。そこで、相馬地区のりんご、星空、オニテナガエビなどの豊かな自然と地元の方々との繋がりを通して、生まれ故郷の地域活性化のお手伝いがしたいと強く感じるようになり応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

・キッチンカーの経営
前職で培ってきた無理なく始められるハワイアンフードを中心とした商品構成、また活動地区は農村地区でもあったので、農繁期の食卓の手助けとなれるよう、畑へのデリバリーも視野に入れています。
・女性専用シェアハウスの経営
活動を通じて見えてきた課題である、看護師を目指す学生は多いのに県外流出率はワースト1という現状を緩和できるよう、県外から来られた学生のサポートをできるようなシェアハウスの運営を行っていきたいです。

活動内容

●地域の役に立つものづくり

菓子製作技術向上のため洋菓子店への研修
相馬地区PRのための日めくりカレンダー製作
廃棄する材料を活用しての染め物製作



●地域活動、情報発信

食料品などの移動販売を行い高齢者の買い物支援
地元テレビ局のふるさと特派員として地域の情報発信
FM青森出演
総務省主催全国イベント出演



●起業にむけて

起業補助金を利用してキッチンカーを作製、コロナ禍でも受け入れられる新たな販路

女性専用のシェアハウス経営



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) hauoli.cafe0812@gmail.com
(電話番号) 090-6808-2042

基本情報



【年齢】
50歳
【出身地】
埼玉県 加須市
【転出元】
東京都 目黒区
【前職】
起業家支援
【活動時期】
R4.9～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

2年ほど前から、岩手町が取り組む「SDGs未来都市共創プロジェクト」の活動に参加しておりました。その後もワークショップの講師をさせていただいたりと何度も町を訪問し、自然豊かな素晴らしい環境に触れ、町民の皆さんや関係者の方々が真剣にまた楽しみながらまちづくりに取り組まれている様子を拝見するうちに、私もその一員として共に岩手町の未来作りに参加したいとの気持ちが強くなり、協力隊に応募させていただきました。

今後の抱負・任期後の目標

まずは多くの住民の方々と対話の機会を持ち、一日も早く町民の仲間入りをしたいと思っております。その上で皆さんの感じる岩手町の社会課題と地域の良さをヒアリングさせていただきます。長く住んでいる方にとっては当たり前のことでも、他の地域の方から見るととても魅力的なことが多くあるものです。それらを外部に発信することで町のファンを増やしていきます。活動を通じて関わる全ての方との出会いを大切に、任期後も岩手町と他地域をつなぐ架け橋としての役割を担っていきたくと考えています。

活動内容

●地域課題解決チーム

岩手町の様々な社会課題を発掘し、その解決に取り組む「地域課題解決チーム」を組成します。課題解決への活動は地域住民（学生や若者、知見をお持ちのお年寄り、子育て中の女性、子どもたち等幅広い層）を中心に、町外の方々も巻き込んだイベントとして、多角的な視点で実施します。



●関係人口・交流人口の拡大

岩手町の課題解決活動には、町外の方々にも積極的に関わっていただきます。共に活動し、町の魅力に触れることで、岩手町を第二の故郷とする方を増やします。また他の自治体で同様の活動をしている団体や企業、学校とも連携をとることにより、情報交換だけでなく交流活動を促進します。



●シビックプライドの醸成

課題解決活動には地域資本（人的資本・物理的資本・社会関係資本）を最大限に活用し、参加者が自分の町を改めて見直すことで、町の魅力を再確認することが可能です。特に次代を担う小中高校生の皆さんには、若者の視点で見た岩手町の魅力の発信を期待しており、最大限応援したいと思います。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) kamimura@white-box.org
(電話番号) 0195-62-2111 (内線218・219)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Facebook) <https://www.facebook.com/Ateam.Iwate/>
(twitter) @Ateam_Iwate

基本情報



【年 齢】
56歳
【出身地】
東京都
【転出元】
東京都大田区
【前 職】
大工、システム構築
【活動時期】
R1.11～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

バスツアーがきっかけで、移住する8年前から毎年訪れていました。沼田市の景観やふれあう人々に魅了され、移住を考えていたところに、協力隊の募集があり、決断しました。移住だけでなく地域貢献できるという希望も叶えられました。

今後の抱負・任期後の目標

全国各地で地域の衰退が起こっていますが、当地域の活性化も容易なことではありません。自分の培ってきた経験、知識を活かして若い世代の方々とこの地域で生活できる環境作りを目指します。任期後は沼田に定住し、自分のスキルを活用してオンライン完結できるプログラム開発・販売の事業を実施予定。雇用の創出と、ビジネスモデルを知ってもらうことで、これから社会人となる若い方に、沼田での起業を勧めたい。

活動内容

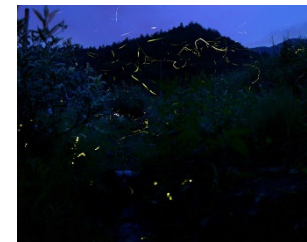
●棚田オーナーイベント

活動団体(薄根地域ふるさと創生推進協議会)でのメイン事業である棚田オーナー制度でのイベント。耕作放棄地を再生し、都会からオーナーを募っている。田植え、観察会、稲刈り、収穫祭と年4回のイベントを実施。年々参加者が増え、総勢100名近い参加。主に広報とカスタマー対応を担当。



●ホテル再生活動

環境保全の一環でホテルの再生事業を実施している。令和元年の開始翌年よりホテルが増え始め、令和4年は延べ400名近い鑑賞者が訪れた。主に広報とカスタマー対応を担当。画像は自身が撮影したもので、新聞やその他メディアにも使用された。



●つなぐ棚田遺産 認定

着任当初から構想を練っていた「つなぐ棚田遺産」に令和4年3月、認定された。主に書類作成と申請を担当。画像は自身がドローン撮影したもので、新聞やその他メディアにも使用された。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(MAIL contact@usunefurusato.com) (電話番号) TEL080-7445-0734
(職場・その他(薄根地域ふるさと創生推進協議会))
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
WEB <https://usunefurusato.com/>
Insta <https://www.instagram.com/usunefurusato/>
FB <https://www.facebook.com/usunefurusato/>
Twitter <https://twitter.com/usunefurusato>

基本情報



【年齢】
50歳
【出身地】
兵庫県明石市
【転出先】
大阪府大阪市
【前職】
会計事務所勤務
【活動時期】
R3.7～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

山に囲まれた自然豊かな場所に居を移して生活したい、社会貢献活動に関われるような働き方にシフトしたいという想いから地方移住に関心をもつようになり、長野県を中心に移住先を探していました。日本仕事百貨の募集記事を見て、先進的な関係人口創出の取り組みや、シビック・イノベーション拠点「スナバ」のような多様な人と出会えるコミュニティがある塩尻という町に興味をもち、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

ポータルサイトの運営を通じて、地域内で活動するプレイヤーの情報を収集・発信するとともに、地域外の方々が塩尻と関わるきっかけとなる窓口の役割を果たすことで、地域と継続的に繋がる関係人口を増やしていきたいです。

任期終了後の具体的な活動についてはまだ未定ですが、着任して1年たち、人との繋がりもでき、地域への愛着も湧いてきています。引き続き、空き家活用やワインや農産物の振興など、地域活性に繋がる活動に関わっていきたいと思っています。

活動内容

●関係人口創出事業

副業などで関わる首都圏のプロ人材と協働して地域課題を解決する関係人口創出事業の企画・運営に携わっています。具体的には、地域課題の発掘とプログラムの企画・設計、関係人口コミュニティ「塩尻CxO Lab」の運営、副業人材の募集・採用とコーディネート、各種イベントや座談会の開催などを行っています。



●関係人口ポータルサイト「のりしお」の運営

noteの地方公共団体支援プログラム活用し、関係人口向けポータルサイトを立ち上げ、運営を行っています。市内外の誰でも参加できるイベントやプロジェクトの情報を、塩尻を「まなぶ」、塩尻に「かかわる」、塩尻で「はたらく」の3カテゴリーに分けて発信しています。



●空き家活用プロジェクトへの参画

地域のNPO法人が主催する、塩尻市街地の空き家利活用のプロジェクトに参画中。片付けイベントなどを通じて、地域活動や空き家問題に関心がある首都圏の方々を呼び込み、継続的な関わりを創出する活動を行っています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://shiojiri-city.note.jp/>

<https://twitter.com/norishiojiri>

基本情報



【年齢】
62歳
【出身地】
大阪府豊中市
【転出元】
大阪府豊中市
【前職】
グラフィックデザイナー
【活動時期】
R3.11～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

兼ねてより関心のあった紙漉き事業に携わる活動という事が募集要項に挙がっていましたので、応募致しました。また、活動地域にはゆかりがあり、第二の故郷のような印象を持っていますので、その地に根をおろし、振興に役立つ事ができるなら、自分にとっても素晴らしい事だと思いました。

今後の抱負・任期後の目標

高野紙・細川紙を中心とした地域活性化を目指します。自身の紙漉き技術の向上はもとより、研究や実証実験などを重ねて、紙への理解を深め、その伝承に努めます。また、任期後も引き続き、当地域の紙漉き、及び文化・芸術に関わり、新しい価値観を持って世界を見据えた社会貢献ができればと存じます。

活動内容

●花オクラと花オクラ染め

紙漉きに必要なたねの原料であるトロロアオイの花は、これまで廃棄されていましたが、栄養価の高い食品でもあるので、無駄なく、地産品として活用することに取り組んでいます。また、美しい色の染料も取れ、「花オクラ染め」として発展するよう計画しています。



●和紙あかり

域内神社の祭りの広報を兼ね、和紙を小さな行燈に仕立てた「和紙あかり」イベントを行っています。参拝者に祈りと願いの言葉を書いて頂く催事です。和紙とのコラボで、地域に人を呼ぶ催しとなるよう活動しています。



●ほそかわ通信

紙漉きの歴史や、地域の特徴、トピック、おすすめスポットなどを、広く一般に伝える為の小冊子を季刊で発行しています。広報の役割と、地域の人々のコミュニケーションツールとしても役立っています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
西細川活性化実行委員会公式Facebook
<https://www.facebook.com/nishihosokawa>

基本情報



【年齢】
51歳
【出身地】
京都府京都市
【転出元】
東京都杉並区
【前職】
業界新聞社・出版社社員
等
【活動時期】
R2.2月～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

出版社に勤務していた頃、中山間地振興や地方創生に関する企画を担当し、興味を持っていた。退職を機にネット情報をもとに協力隊の募集情報を集めましたが、当時はほとんどのケースで年齢制限にひっかかり苦戦しました。着任した現在の場所の募集情報については知人に教えてもらいました。ラッキーだったと思います。

今後の抱負・任期後の目標

コロナということもあり、親しくなる機会としての会合やイベントなどが減る中、2年目3年目とやっとさまざまな方に意見をうかがうことができるようになってきました。これまで同様、地区のアイデンティティを大切に活動と一緒にさせていただくとともに、任期後の生活においても、まずはそのスタンスを大切にしていきたいと考えています。

活動内容

西郷工芸の郷のお手伝い

200年近い歴史をもつ牛ノ戸焼、人間国宝のやなせ窯など、古くからの窯元を軸に「工芸の郷」をむらおこしの核として地域活性化をはかる西郷地区において、各種イベントなどのお手伝いをしています。写真は毎年秋に開催される西郷工芸祭りの様子です。



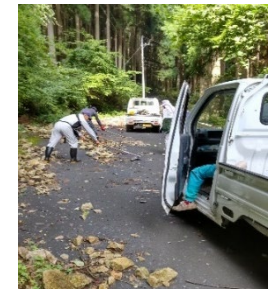
いなば西郷むらづくり協議会のお手伝い

いなば西郷むらづくり協議会では、曳田川の草刈りや掃除、水仙やヒガンバナの花植え、昔話の発掘、西郷の部落史の作成など、多くの事業を行い、地域のアイデンティティの再確認や景観美化に努めており、そのお手伝いをしています。写真はヒガンバナ植えの様子です。



三滝まもり隊のお手伝い

河原町指折りの景勝地でもある三滝渓は、現在、最大の見どころである千丈滝への遊歩道が崩れて立ち入り禁止になっています。地元の有志がそれを惜しみ、林道沿いの草刈りやレストハウス三滝荘の清掃、イベントの開催などで三滝再興への道を探っており、そのお手伝いをしています。写真は大雨のあとの土砂の除去作業です。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) rsrt815@gmail.com
(電話番号) 0858-85-0445

基本情報



【年齢】
55歳
【出身地】
岩手県 盛岡市
【転出元】
神奈川県 大和市
【前職】
海上自衛官
【活動時期】
R 4.6.1 ~
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

前職を退職後に四国に移住を考えていたところ、都内の移住相談会に参加し担当者から協力隊の説明を受け、移住へのステップと考えていた。
実際に木岐や役場の方々に会い、皆さんの人柄と木岐の自然豊かな環境にひかれ応募した。

今後の抱負・任期後の目標

木岐まちづくり協議会として会長とともに、所属する各団体のさらなる積極的な参加、活動を目指す。
任期後は県内に就職、移住を希望する。

活動内容

●10/30思い出コンサートの実施

歌手の皆谷尚美さんを招いて、現在休校中の木岐小学校で木岐の地元のお年寄りの方を中心に約100名の来場があった。この企画を計画し、準備段階から当日まで中心となり、盛況に実施できた。



●10/23かかし展示会の実施

毎年の恒例になっている行事ですが、木岐奥地区のふれあい農園にてかかしの展示を中心に、子供たちへのミニチュアかかし作成や焼き芋の振る舞い、ミニチュアかかし人気投票などを行った。



●9/16の台風によるの消防団の対応

水門が波をかぶり、砂でせき止められて雨水が排水出来なかったため、水門を開放し対応しました。
また木々の倒木による被害の確認を行なった。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) kiki-yasuragi@me.pikara.ne.jp

(電話番号) 080-2986-1195

【**職場**・その他 (〇〇)】

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

<https://www.facebook.com/minami.kyouryokutai>

基本情報



【年齢】
51歳
【出身地】
大阪府 堺市
【転出元】
東京都 中野区
【前職】
デイサービス
【活動時期】
R2.4~
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

- ・地方での暮らしに興味があり、父の出身地である愛媛県は馴染みがあった。
- ・サイクリングで何度もしまなみ海道に来ていたため、候補となった。
- ・協力隊として移住すると地域に馴染みやすいと考えた。
- ・協力隊の期間に生業作り、住居探しができると考えた。

今後の抱負・任期後の目標

- ・「介護タクシー・困りごとお手伝いサービス」の開業
- ・格闘技フィットネス教室の継続および参加者の増加

活動内容

●格闘技・フィットネスジム

18年間の格闘技経験を活かし、スポーツ施設がない島で、キックボクシングを基としたキックフィットネスおよび組技（グラップリング）教室を開催。子供から大人まで、今治市だけでなく、他市町村からも参加いただいている。



●オリーブ園

耕作放棄地を開墾し、特産化を目指しオリーブ園を運営しているボパイズクラブのお手伝い。一年目から、農作業やネットでの販路の拡大、フライヤー作成などのお手伝いを行っている。



●移住促進、情報発信

移住促進用のサイトを作成したり、ローカルの魅力発信サイト「ローカリティ！」に記事を書き、情報の発信をしている。



連絡先

メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) sumou@imabari-city.jp (電話番号) 0897-72-8772

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(HP) <https://www.shimanami-fight.com/>

(Instagram) https://www.instagram.com/grabaka_imabarioshima/

基本情報



【年齢】
50歳
【出身地】
福島県 福島市
【転出元】
福島県 福島市
【前職】
歯科医院
【活動時期】
R3.4～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

温暖な気候の島で、「コミュニティ空間」を作りたいと長年思っていました。子どもが独立したこともあり、SNSで移住について調べていたところ、「地域おこし協力隊」の存在を初めて知りました。定住したいという希望があったので、そのためには、地域の方々に自分を知ってもらう事、地域の方々との繋がりが大事だと思いました。「地域おこし協力隊」として、地域のために活動できることは、地域の方々と交流しながら、地域のことを知る良い機会だと思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

「コミュニティ空間」（居心地のいい空間）を作りたいと考えています。飲食店（島の食材を使った料理の提供）を軸に、島内の作家さんの作品の展示や販売スペース、対面セッションができる談話スペースを作り、地域の方々も楽しめる空間を提供したいと思っています。

活動内容

●きれいな景観を目指す活動

色褪せた看板の塗装や補修を行っています。大島在住の画家のとんぼさんにアドバイスを頂いたり、地域の方々には足場をお借りし、高所作業などはお力をお借りしながら作業しています。その他に、毎月数回、海岸清掃を行っています。



●子供たちとの活動

B&G海洋クラブ活動「マリンスポーツ活動」「水に賢い子どもを育む年間型活動」、伯方児童館「親子クラブ」「出前あそび講座」、吉海小学校「ふるさと学級」ほか、子どもたちの活動をサポートしています。



●高齢者の方との交流

オリーブ園・ブルーベリー園・しんせん農園などの農作業（草刈りや収穫など）、ハーブソルト・ジャム作り、収穫祭などイベントのフライヤーやプライスカードの作成などのお手伝いをしています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) sumou@imabari-city.jp
(電話番号) 0897-72-8772

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://www.facebook.com/imabari.ohshima>

基本情報



【年齢】
52歳
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
東京都豊島区
【前職】
調理師
【活動時期】
R2.4～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

母が他界し、都心部にいる必要性が薄れ、また前職が施設系の調理師だった為、同職であれば都市部との賃金格差も少ないので地方に目を向けた。現在の地域に注目したのは様々な立地条件が自分の起業に活かせると思ったからである。

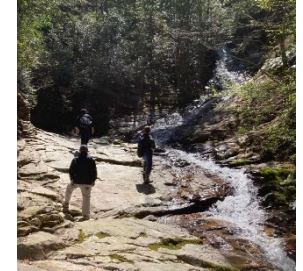
今後の抱負・任期後の目標

退任後は飲食系での起業を予定している。
また、地域企業同士、協力隊ミッションの製品開発や販売協力などもすでに着手しているが、現行の職員型でのマネタイズができないため、今後の課題として重要なファクターになっている。
地方行政区分以外から「特定地域づくり協同組合」のお話もいただいております。可能ならそちらにも注力したい。

活動内容

●地域観光資源の現地案内

えひめ南予きずな博における移住希望者に向けた移住・定住促進ツアーの行程作成協力、ツアー当日に御槇地区及び市内の現地案内人として参加。また、関係機関などに向けても、御槇地区の観光資源を案内。



●行政境を超えた「南予エリア」としての商品開発等

単独市町ではすでに販売、誘客、移住政策などの力が減衰しており、広域エリアでの協力体制での対応を「民間主導」で出来るように様々な企業や人材のマッチングや、開発の仲介・原案提供などを行っている。

●地域コミュニティ組織傘下「みまきガーデン」の運用補助

宿泊、飲食を主とした民間の組織である「みまきガーデン」において、当初は運用の最適化を目指したが、様々な問題から方針を「延命」に切り替え、着任中の助成金申請や政策への対応、それを活かした誘客などに注力している。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(みまきガーデンFB) <https://www.facebook.com/mimakigarden>

基本情報



【年齢】
52歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
大阪府八尾市
【前職】
児童養護施設事務局長
【活動時期】
R4.4~

協力隊に応募したきっかけ

海外のリゾートが大好きで、ハワイやバリ島などよく出かけていました。コロナ前までは海外に移住を考えていましたが、コロナがきっかけで日本の良さに気が付き、子どもの進学を期に高知を知り、偶然、高知市地域おこし協力隊の募集チラシを目にして今は、高知市にいます。

今後の抱負・任期後の目標

この任務に就き私が感じた事は、地域で活躍されている人を深く知ることで、人の温かさや地域の魅力がよく分かるということです。今後、私が実践したいのは、人口減少はもう止めれない中、今の流行など周りと同じことをしていても一時的な活性にしかありません、私は地域の声を拾い上げたうえで、ココでしか無い、この場所でしか出来ない、まだまだ眠っているオンリーワンの資源を掘り起こし、地域おこし協力隊ならではの発信の仕方でも長浜・御豊瀬・浦戸地域の皆さんと一緒に活性していきたいと思っています。「地域作りは人作り」この地域の皆さんとなら叶うような気がします！

活動内容

●地域おこし学校「こうちみませ楽舎」の企画・運営

こうちみませ楽舎とは、学びと実践を通して地域おこしを行う場所で、今年度はプレミアム教室と通常教室を開校しています。私は、プレミアム教室では受講生として、通常教室ではスタッフとして参加しています。

また、御豊瀬にある干物屋さんを講師に迎え、高知大学野生生物研究会の皆さん協力のもと、特別教室の開催を企画しました。

また、みませ楽舎の事をもっと知って頂きたいと思い、地域を飛び出し高知大学の黒潮祭やイオンモール高知のSDGsイベントなどに参加し、PRしてきました。



●広報紙や・SNSなどによる情報発信

SNSの発信の他に紙媒体の広報紙「新・里海かわら版」や「協力隊なにしゅう」を定期的に発行しています。地域にはお年寄りも多く、紙媒体での告知は重要です。また、直接渡すことにより、会話も広がり、住民との距離が近くなりました。特にVOL.7の取材を通して地域の方々の思いや、優しさに触れる事ができ、とても貴重な体験をさせて頂きました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

高知市地域活性推進課（メールアドレス）kc-011700@city.kochi.lg.jp
（電話番号）088-823-8813

【活動の様子を発信している
SNS・ブログなど】



高知市HP



Instagram



note



Twitter

基本情報



【年齢】
51歳
【出身地】
埼玉県 ふじみ野市
【転出元】
高知県 安芸市
【前職】
看護師
【活動時期】
R2.3～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

食べ物が美味しく絶景の多い四国での生活に憧れていました。資格を生かして仕事を見つけられないか模索する中で、都内で開催されていた高知県の移住フェアに参加しました。そこで地域おこし協力隊の制度を知り、挑戦してみたいと思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

地域にプラスアルファをお届けできるような存在を目指して活動してきました。残りの任期があと数か月となり、医療・福祉の分野に戻ることを視野に少しずつ動いています。兼業で地産材を利用してものを作る仕事をしてみたいので、余暇でこしらえたハンドメイド品をお世話になった方にお渡しして感想を聞いたりしています。また、活動を通じて野菜を作る楽しさを学ぶことができましたので何らかのかたちで続けられたらと考えています。

活動内容

●入河内大根のこそう会での活動

地域の畑をお借りして入河内大根を作っています。入河内大根は安芸市の伝統野菜で、PRをかねて市外スーパーで販売を行っています。毎年民放各局様の取材を受けたりもします。入河内大根のこそう会では会計を担当していますので出荷時期の1～2月は繁忙期です。



●集落活動センターかまん東川としての活動

テレビや学校からオファーを頂いて取材を受けたり活動について話をさせて頂いたりしました。県主催のマルシェ出店もさせて頂きました。最近では地域の方々から要望を受けて、皆でお茶を飲みながらお喋りするサロン活動を行っています。



●地域見守り・地域新聞配布

地域の駐在さんと情報を共有しながら、見守り活動を実施しています。地域新聞を配布し、お声かけをしています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) rivereastcooperation@gmail.com
(電話番号) 0887-32-3031 集落活動センターかまん東川

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(かまん東川 (facebook))



基本情報



【年齢】
57歳
【出身地】
高知県高知市
【転出元】
東京都小平市
【前職】
会社員
【活動時期】
R2.8~
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

地元でUターンを考えていたおりに、本協力隊の募集を知りました。活動地域は、以前にスキューバダイビングを実施した事があり、その時に自然豊かな環境の良い場所である思い出がありました。そのスキューバダイビングサービスが現在は閉鎖しているとの事と地域が限界集落になって来ているとの話を聞いて矢井賀地区の活性化に尽力したいと応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

残りの約1年で少しでもダイビングサービス再開の足掛かりを作りたい。任期後は、地域に残って漁師を目指しながらダイビングサービスの再開を目指す。

活動内容

●地域行事への参加

地域で一番大きな松尾神社で行われる中土佐町の無形文化財である「花取り踊り(練り)の奉納」が住民の現象化の為に5年ほど実施されていない。この奉納の復活を目指すべく他の地域の力を借りることも視野に入れて活動中。



●地元漁師さんの御手伝い

私は、スキューバダイビングのインストラクターや潜水士資格を持っており、その資格を活用して地元漁師さんの手伝いとして水中での作業などを行っています。



●ダイビングサービス再開活動

ダイビングサービス再開に向けて矢井賀の海中調査を実施しています。昔は素晴らしい珊瑚礁が点在していましたが、現在は、珊瑚礁はほぼ全飯しポツポツと点在して生息している状況です。今後は珊瑚礁の復活をする活動もしていきたい。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) shibaten2011@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
・<https://www.paddy3.com/> (現在構築中)
・<https://www.facebook.com/masanori.mizuta.3/>

基本情報



【年 齢】
57歳
【出身地】
東京都 大田区
【転出元】
東京都 大田区
【前 職】
会社員
【活動時期】
R2.4~
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

両親共に東京育ちで田舎がありません。旅行や親戚の田舎を訪れるたびに、地方での暮らしに憧れるようになり地域で役に立てる事があれば、是非、移住したいと思いました。

今後の抱負・任期後の目標

地域に根差した活動を続け、移住者の指針を作りたいと思っています。

活動内容

● 「地域の生活環境向上」と「観光ポイントの美観の維持」「地域特産品の継承」

地域に公共交通機関がなく自動車は必需品ですが地域に自動車整備工場がなく緊急対応ができず修理に時間がかかるので車や農機、船舶の修理依頼を受けています。高齢化で除草作業や倒木処理が滞ってしまうので、できる範囲で活動しています。



除草作業での観光ポイント制作



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) hidemi.enomoto@city.sasebo.lg.jp
電話番号 黒島支所 0956-56-2001

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(フェイスブック) <https://www.facebook.com/sasebochioko>
<https://www.facebook.com/96shima>

基本情報



【年齢】
55歳
【出身地】
東京都目黒区
【転出元】
東京都杉並区
【前職】
起業コンサルタント
加工食品診断士
【活動時期】
R2.4～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

退職後、彼らの郷里である熊本県にUターンした親の介護問題が発生し、二拠点生活の方法を考え始めていた時に、ふるさと回帰支援センターHPで“地域おこし協力隊”の制度を知り、ビッグサイトのイベントに参加し菊池市の協力隊に応募。

今後の抱負・任期後の目標

加工食品診断士として安心安全な調味料の普及を行っていききたい。地元の豊かな恵みと温かい人々のマンパワーを活かし安心安全な調味料の製造もできたら・・・と考える日々。ターゲットは差別化を狙う幼稚園や学校給食。地元のおいしい物とセットにし、都会向けのサブスクもやってみたい。

活動内容

●おとな食堂

フードドライブで集めた食材や、道の駅などから提供していただいた野菜を活用し、子どもシェフ達が独創的で予想外に美味しい創作料理を大人に振る舞う。子供たちの料理へのハードルを下げると同時に、大人たちの本音トークの場の提供を目指している。



●仕事の家庭教師

市役所や商工会に相談に行くほどではないけれど、これが解決したらスッキリする！前に進める気がする！そんな小さなお悩みを持ち込んでいただき一緒に考える場の提供。市役所を飛び出して定休日のカフェをレンタルして開催中。



●召しませ着物（浴衣）

歴史のある菊池のまちには和装がとてもよく似合う。まちを和服で歩く人を増やすことを目的とし、地元のお母さんたちに浴衣を着つけて頂いたりカメラマンによる写真撮影を行ったりしている。和装の関係人口を増やすべく着付け教室も定期開催中。今後は着物で参加したくなるイベントも開催していく予定。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) kk.labplus@gmail.com (古閑氏の会社)
shoukou@city.kikuchi.lg.jp (菊池市商工振興課)
(電話番号) 0968-36-9720 (菊池市商工観光課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://www.facebook.com/菊池市-地域おこし協力隊-765929873524925/>

基本情報



【年齢】
50歳
【出身地】
鹿児島県鹿児島市
【転出元】
鹿児島県鹿児島市
【前職】
調理師
【活動時期】
R3.9～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

自然豊かなところでお店（飲食店）をしたい。という思いから、50歳を目前にチャレンジするなら今と考え前職を退職。

地域おこし協力隊の話を知り、南大隅町の募集があることを知り、すぐに応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

地域にもっと多くの方が定住できるように、仕事の場を増やし、心豊かな生活を送れるように公民館活動も継続して取組を進めます。

活動内容

● 辺塚だいだいの加工・商品開発

GI登録の「辺塚だいだい」ですが、なかなか販路がなく、集落内ではあまり収穫されずそのままの状態です。

活用方法の幅を広げることを目標に、果汁を使ったムースやゼリーなどを試作してみました。今後は販売できるよう進めていきます。



● 海を望む棚田で手植えにチャレンジ

活動拠点の「辺塚」の米はおいしい！はじめて辺塚に来た時に感じた感想です。今後、この地区で飲食をするならば、自分で育ててみることに。農業の大変さ、大切さ、考え方などを学ぶため、手植え・田車除草など、昔の方法でチャレンジしました。



● 活動拠点「辺塚地区」の関係人口拡大の可能性

鹿児島大学のゼミ、東京農業大学のアジア・アフリカ研究会サークルの研修受入れを、地域の方々と一緒に行いました。地域の生活や歴史、文化。辺塚だいだいなどの農産品について、鳥獣害対策や地理的要因による農業スタイルなどを体験と交流によりお伝えしました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) hetukakyouryokutai2021@gmail.com
(電話番号) 0994-25-1308

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram ID : minamioosumi.hetuka
Facebook ID : 佐多辺塚協力隊

基本情報



【年齢】
54歳
【出身地】
北海道 檜山郡江差町
【転出元】
北海道 苫小牧市
【前職】
会社員
【活動時期】
R3.5～

協力隊に応募したきっかけ

出身地の檜山での生活を希望し就職活動をしていたところ、上ノ国町が隊員募集をかけているのを見つけた。

活動概要に「ぶどう栽培支援活動」と書いてあったため、子供のころ住んでいたことのある風景にぶどう畑ができることに興味がわいたことがきっかけとなり、応募した。

今後の抱負・任期後の目標

新型コロナウイルス感染症の影響で、栽培支援があまりできていないため、今後は新規でぶどうを育てている農家への支援などに力を入れたい。
また、あと半年ほどで3年目に入るため、卒業後に向けて経験を積みたい。

活動内容

●醸造用ぶどう栽培に係る支援等

上ノ国ワイナリーが令和4年1月にオープンし、町外の醸造用ぶどうによるワインづくりが始まっている。町内産の醸造用ぶどうによるワインづくりに向けて、令和3年から栽培が始まり果樹経営補助金申請や農地確認などを担当者と取り組んでいる。



●上ノ国町内の物販PR

以前住んでいた苫小牧市のつながりから、イベントに招待されたため、上ノ国町産の品物を持参し出展販売を行った。



●任期満了後の活動に向けて

任期中に町内外を巡回し、今後上ノ国町でどのような活動を行うことができるのか可能性を調査している。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) seisaku@town.kaminokuni.lg.jp
(電話番号) 0139-55-2311

基本情報



【年齢】
58歳
【出身地】
東京都杉並区
【転出元】
東京都杉並区
【前職】
バス運転士
【活動時期】
R3.8～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

20年ほど前に趣味の登山をしている際にパークレンジャーの方から、シカによる針葉樹林の食害の話を知ったことで被害の大きさと深刻さを知りました。その一方、山中では駆除目的で殺処分されたシカが適当に処理されている姿を目にすることもありやりきれない思いにもなりました。

そうした体験を通して、鳥獣被害で困っている方々の手助けをしつつ、処分された鳥獣の有効利用に携わりたいと考えるようになったことがきっかけです。

今後の抱負・任期後の目標

まず、狩猟の知識や技術を学んでいきたいと考えております。現在は地元の猟友会の方々と行動することが多く、知識や技術のみならず経験や地域の特性も学んでおります。今冬からは猟銃を使用した捕獲にも挑戦していき、現場での経験を積んでいきたいと思っております。

また、捕獲のみならず農作物等の被害が減少するような防護法の調査や、地域の方々との協力体制の構築を継続して行っていきたいと思っております。

活動内容

●鳥獣被害の現状確認

玉山地域での鳥獣被害を把握するために実地調査を行いました。昼間には被害のあった農地へ赴き被害作物や足跡の確認をし、夜間には監視カメラによる生息鳥獣の確認をしました。鳥獣毎に有用な餌や餌が違うため今後の活動のための基礎となる活動でした。



被害のあったデントコーン畑

●罠の設置及び見回り

猟友会の方々と協力し、罠の設置、見回り及び捕殺対応を行いました。罠の設置方法や場所を指導してもらっただけでなく、撒き餌を使用することで効果的に捕獲できるよう自分なりの工夫もしました。令和4年度には玉山地域で初めてのイノシシ捕獲にも協力することができました。



設置されたクマ罠

●地域の方々への広報活動

地域全体で鳥獣被害を防止する“地域ぐるみの被害防除体制”を確立することができれば、今よりも鳥獣による農作物被害が減少すると考えております。そのためにも地域住民への広報活動などを行っていただきたいと思います。本年は地域の集会で鳥獣被害や対策についてお話することができました。



地域の集会で説明する阿形隊員

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) tamayama.jyugai@gmail.com
(電話番号) 019-683-3852 (盛岡市玉山総合事務所産産振興課)

基本情報



【年齢】
63歳
【出身地】
東京都葛飾区
【転出元】
山梨県南都留郡山中湖村
【前職】
企業の契約社員
【活動時期】
R4.6～

協力隊に応募したきっかけ

出身が山梨県であり、仕事の関連も山梨県との関わりのある案件が多く、山中湖村においても農泊推進対策の事業にも携わっている。そのような関連から、山中湖村を訪れる機会が度々あり、村の持つ様々な魅力や今後の課題についても知ることができた。

この度の地域おこし協力隊を機会に、自身の得意分野を生かした仕事（新規事業の構築）に従事し、魅力ある山中湖に移住することも念頭に応募した。

今後の抱負・任期後の目標

花き栽培に興味を持たれた方々と協議・協力をし合いながら、花き産業の担い手数とそれに伴う生産数を増やしていき、山中湖の主たる産業、安定した産業になるような振興計画を進めていきたい。

任期後は山中湖村でこれから花き栽培を始めたい方、県外から山中湖村に移住して花き栽培を始めたい方々を募り、栽培の指導や事業の計画を支援するコンサルティング業務を行いたい。

活動内容

●花き栽培を中心とした観光と産業の発展

標高が高い山中湖村ならではの気候や富士山や山中湖のブランドを生かした花きを栽培し、山中湖の玄関口である「花の都公園」の施設を中心にリピーター客が続出する話題性と魅力のある観光地づくり、また山中湖村の新たな特産品として利益性が高い花き産業の振興を村民とともに目指して行く。

〈8月に花の都公園内で開催したフラワーアウトフェスティバル〉



連絡先

基本情報



【年 齢】
51歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
東京都豊島区
【前 職】
会社員
【活動時期】
R3年4月～

協力隊に応募したきっかけ

長野県への移住、新規就農を目指していたところ、中野市役所の方に協力隊制度を利用した新規就農（果樹農家）を推奨されたため。

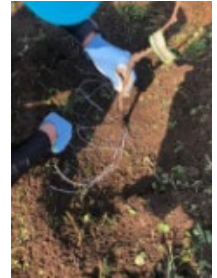
今後の抱負・任期後の目標

今後は農業、栽培技術の習得、新規就農者の中心として技術の支援や農業者コミュニティーづくりに励みたい。また、市のPRを目的に都市部と農村の交流を図れるように、交流イベントに参加したい。
任期後は中野市内での定住を目指し、農業を生業に自営業として独立したい。

活動内容

●苗木の植え付け

ぶどう苗木の植え付けを市内先輩農家の方に技術指導いただきました。



●ぶどうの房切り

ぶどう栽培における房切り、摘粒について市内先輩農家の元で体験させていただきました。



●棚の施工作業

果樹棚の施工を市内先輩農家の元で体験させていただきました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス yamashita-kazutaka@city.nakano.nagano.jp
電話番号 中野市経済部農業振興課 0269-22-2111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
フェイスブック <https://www.facebook.com/nakanokyouryojutai>

基本情報



【年齢】
58歳
【出身地】
神奈川県鎌倉市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前職】
農業・農家レストラン・
農産加工販売
【活動時期】
R4.4～

協力隊に応募したきっかけ

1996年 山形県にて新規就農し農業、農家レストラン、農産加工を行っていましたが2018年、脳卒中で左半身麻痺となりすべての事業を廃業。実家に戻りリハビリが一段落した時、やはり農ある暮らしがしたいということで、身体障害者ではありますが自分のキャリアが活かせるだろうということで協力隊に応募しました。希望地は雪のほとんど降らない東日本の山間部。ということで上伊那地方となりました。

今後の抱負・任期後の目標

スモール農業・スモール六次産業化の実践
・トマトを中心にした野菜づくり
・農と食をテーマとした交流農園、体験農園
・新規就農者の育成

活動内容

●トマトプロジェクト

本年は31種類のトマトを栽培。この地域の気候特性と栽培特性を知ること、トマトにおける加工品の試作など地域における六次産業化の可能性の調査。

<私の農業における資格と経験>

- ・信州六次産業化プランナー（農山漁村発イノベーションプランナー）
- ・食の六次産業化プロデューサーレベル3
- ・山形県大江町認定農業者（廃業まで）
- ・平成23年度六次産業化法総合事業化計画認定事業者
- ・山形県農業研修生受け入れ農家（廃業まで）



●花プロジェクト

箕輪町ながた自然公園キャンプ場入り口とサイクルテラス・バンポトラック前面における花壇の設置と花の植栽。花は播種、育苗から行い、夏秋の花、冬春の花と年2回植栽し、管理しています。

●農業関係セミナーの実施

- ・有機農業入門セミナー
- ・六次産業化セミナー
- ・新規就農者の実践農業セミナー



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
自己紹介HP <http://yukainayasaimura.com/>
活動の様子 インスタ



基本情報



【年齢】
58歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
香川県小豆郡土庄町
【前職】
編集デザインDTP
【活動時期】
R.2.12.1~R.5.11.30
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

前職を続けていても将来への展望が持てず、大阪での生活に閉塞感を抱いていた。以前より豊島で暮らしたいと思っていたところに地域おこし協力隊を募集していることを知り応募。

今後の抱負・任期後の目標

農業に関わりたいと思う人々や、就農者ほか地元住民の為に役立つことをやっていきたい。
地元の野菜や米粉を使ったメニューを飲食店と協力して開発していきたい。

任期後も豊島で何かの職業に就きながら、副業で農業をしたり、地元の飲食店と共に「食の島」をアピールできるような活動を続けていきたい。

活動内容

- **棚田エリアの景観維持**
実働農地や耕作放棄地の草刈り。農道整備。害獣除けフェンスや電気柵の保守点検。
- **農作業**
棚田での米作り。果樹、野菜、綿花の生産。
- **野菜即売会**
自分たちの畑や果樹園で収穫したものの他、農家からの依頼も含めた野菜や果物の販売。毎月2回実施。
- **棚田エリアでのイベント開催**
田植え、稲刈り、サツマイモや果樹の収穫などの体験イベントを定期的を実施。
- **農業関連以外の活動**
体育協会のメンバーとして、地元住民の健康増進イベントの運営に参加。
唐櫃浜盆踊り大会実行委員会のメンバーとして、途絶えていた盆踊り大会を復活させる活動に参加。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
Facebook「てしまぐらし」
<https://www.facebook.com/てしまぐらし-102362191748023>

基本情報



【年齢】
67歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
東京都小金井市
【前職】
東京都
【活動時期】
R3.4～R6.3
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

忽那諸島の魅力発信を通して、人を呼ぶ・集める活動を展開したいと考え応募した。

今後の抱負・任期後の目標

「地域資源を活かした特産物の開発」や「耕作放棄地・低未利用農地を活かした地域農業の活性化」等を行いたい。任期後についても、農業を通じて地域の活性化につながる仕事をしたいと考えている。

活動内容

●農園芸に係る活動

忽那諸島の主産物（柑橘類）の生産振興のため、県や農協の生産技術指導担当者の支援を行っている。その他、柑橘類以外（アボカド・パッションフルーツ等）の作物栽培に関する助言や支援も実施。



●生活環境整備に係る活動

狩猟（ワナ・猟銃）免許を取得し、獣害対策の活動支援を行っている。



●教育機関との連携による学習支援

愛媛県立松山北高等学校中島分校の生徒に対して、小麦の栽培指導や校内の菜園の管理指導を行っている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) shuichi.fujimoto@city.matsuyama.ehime.jp
(電話番号) 089-948-6816

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Facebook) <https://www.facebook.com/people/松山市地域おこし協力隊/100067691480734/>

基本情報



【年齢】
57歳
【出身地】
神奈川県 横浜市
【転出元】
東京都 あきる野市
【前職】
民間会社の営業職
【活動時期】
R3.7～

協力隊に応募したきっかけ

かねてから地球環境に興味があり、環境問題に係る仕事に携わりたいと考えていた。残念ながら、前職の民間会社での仕事は、売り上げ拡大を目標とした大量生産・大量消費を促すものであり、積極的に環境を守ることにはつながっていないと考え、会社を早期退職。

その後、自然の中で生活したいと考える中で、佐賀市富士町で募集していた地域おこし協力隊に興味をもち応募。

今後の抱負・任期後の目標

これまで行ってきた、森林環境教育関連に加えて、県や市、地域の森林組合と一緒にあって、林業従事者を増やすための取り組みを行う。

また、施業に携わる自伐型林家になるための準備として、車両系建設機械運転等の必要な資格取得を行う。

活動内容

- 佐賀の山をもっと佐賀の人に知ってもらうために講義を実施。

佐賀県や佐賀市における森林と林業の現状について、大学の講座や高校生を対象とした就業体験で講義やプレゼンテーションを行っています。活動を通して、佐賀市民に地元の森林や林業に興味をもってもらい、就業者の増加につながればと活動中！



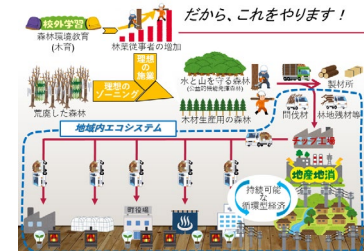
- 自身も森林施業に携わるための活動を実施。

隊員卒業後も森林に携わっていきたいとの思いから、自伐型林家育成のための研修に参加。刈払機や伐木のためのチェーンソーの安全講習受講から、専門家の指導のもとで、伐木を運び出すための作業道開設に必要な機械運転の講習など幅広い資格取得のため現在勉強中！



- 地域内エネルギーの可能性に挑戦。

地域資源である木質バイオマスを生かした発電・売電計画への参画や熱利用の可能性の模索など、持続可能な地域内エネルギー循環システムの構築に向けて他の自治体の事例確認や研修会に参加し、日々研鑽中！



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) shinrin@city.saga.lg.jp (職場)
(電話番号) 0952-58-2183 (職場)

基本情報



【年 齢】
58歳
【出身地】
福岡県北九州市
【転出元】
福岡県北九州市
【前 職】
・ダイレックス株式会社
・(有)コンフォートクリ
エーション ほか
【活動時期】
R4.4～

協力隊に応募したきっかけ

- ・芦北町をテレビ番組で見た際に、海と山に囲まれた温暖な地というイメージを持ち、「芦北町に住みたい」と思ったため。
- ・ミッションであるオリーブ事業が、今年度から実証栽培を開始する初めての取組みであるためやりがいを感じたため。

今後の抱負・任期後の目標

- ・オリーブの栽培技術を習得し、実の収穫を軌道に乗せたい。
- ・実の収穫量が安定するまでに、商品化や観光農園化等に向けた長期的な計画を立てて事業の確立に備えていきたい。
- ・これまで職務経験のある観光業の知識を活かし、御立岬公園の観光全般に関わり盛り上げていきたい。

活動内容

●オリーブ試験圃場での栽培管理と技術習得

- ・14品種の苗木を250本植栽、更に成長状況の良い8品種を250本追加で植栽し、成長記録のチェック等を行い実証栽培を実施しています。また、栽培に必要な施肥、防除、草刈り等の作業をスケジュールを組み立てて実施しています。



●オリーブ加工品開発

- ・オリーブの実が生るのは3年生の苗を植えてから3年後と言われているが、今年少量の収穫ができたことから、実験的に実の塩漬けの加工、オリーブ茶の試作、簡易搾油機を使った搾油を試みました。
- ・今後、3年後の収穫を見込み搾油機の導入や加工場の整備を行っていきます。



●技術習得のための視察及び研修

- ・御立岬でのオリーブ事業の取組みはスタートしたばかりでノウハウがないため、先進的に取り組んでいる自治体や企業に視察研修を行っています。
- ・今後は、栽培過程で必要な剪定等の作業研修や先進地への視察を行っていきます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

0966-82-2511 (内線275) <芦北町役場農林水産課内>

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

『芦北町地域おこし協力隊』の活動紹介FB

基本情報



【年 齢】
54歳
【出身地】
北海道
【転出元】
北海道札幌市
【前 職】
株式会社 サウンズグッド
OS札幌支店
【活動時期】
R3.6～R6.3
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

2011年より猫の保護活動を始めた時から、この活動が仕事になれば良いと思いつけていたところ、地域おこし協力隊で犬猫愛護推進員という仕事があると聞き、これまでの経験が仕事として役に立つのであれば是非やってみたくらいという思いから応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

犬猫の問題は動物好きの方だけで解決すれば良いと思われがちですが、決してそうではありません。犬猫が存在している限り、犬猫問題は無くならないと思います。行政とボランティアそして地域の三協で問題を小さくすることは可能だと思います。地域おこし協力隊の経験を活かして、犬猫に関して悩んでいる方がいれば一緒に良い方法を考え、犬猫を好きな人も嫌いな人も笑顔になる活動と、不幸な犬猫を増やさない活動を今後も続けていきたいです。

活動内容

●犬猫の適正飼育の啓発

生活環境の悪化につながる犬猫の不適正飼育の未然防止のため、適正飼育の啓発活動を実施

●飼い主のいない猫の対応

猫を寄り付かせない方法の助言や付近でえさやりに対する指導や地域理解のもと避妊・去勢を実施したうえでのえさやりやトイレのしつけを行うなどの地域猫活動を推進すべくそうした手法を伝えながら普及につなげる活動を行っている。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) kankyo@city.kitami.lg.jp (電話番号) 0157-25-1131

基本情報



【年 齢】
53歳
【出身地】
北海道
【転出元】
北海道札幌市
【前 職】
生活協同組合コープさっぽろ
【活動時期】
R3.6～R6.3
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

以前より動物の救済に関わる仕事に就きたいと考えていたところ北見市の尊い命のための取り組みを知り、ぜひ北見市で活動させていただきたいと考えました。

今後の抱負・任期後の目標

1年目にできなかった、自身の活動のお知らせや、啓発活動にもっと力を入れて、動物との共生に理解を深められるよう取り組みたいです。

活動内容

●犬猫の適正飼育の啓発

生活環境の悪化につながる犬猫の不適正飼育の未然防止のため、適正飼育の啓発活動を実施

●飼い主のいない猫の対応

糞尿被害の訴えに対しては猫を寄り付かせない方法の助言、付近でえさやりに対する指導、地域理解のもと避妊・去勢を実施したうえでのえさやりやトイレのしつけを行うなどの地域猫活動を推進すべくそうした手法を伝えながら普及につなげる活動を行っている。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) kankyo@city.kitami.lg.jp (電話番号) 0157-25-1131

基本情報



【年齢】
50歳
【出身地】
神奈川県 鎌倉市
【転出元】
東京都渋谷区
【前職】
マスコミ関連
【活動時期】
R3.12～

協力隊に応募したきっかけ

数年前に中部地方でサービスで提供されたジビエ料理を食べた後から狩猟に興味を持ち、銃とわなの狩猟免許を取得しました。趣味として活動できるような環境を探していた時に、小学生の頃に遊びに来たことのある鋸南町での募集情報を知り、前職の契約期間のタイミングと重なっていた事もあり、思い切って応募に至りました。

今後の抱負・任期後の目標

有害鳥獣対策を担当していますが、それ以前に「地域おこし協力隊」として、これまでの様々な経験を活かして、地域の活性化に貢献したいと思っています。任期後の目標は漠然としていますが、有害鳥獣対策だけではなく、町内で生活している方々のあらゆる困りごとを解決できるような役割を担っていける立場になれば良いなと考えています。

活動内容

● 獣道を見つけてくりわなを設置

町民からの通報や相談を受けて、町役場の職員と検討の上、箱わなやくくりわなの設置を行います。現場を訪れ、有害獣の足跡や何かしらの形跡が残っていないのかを調べた上で、わなの設置位置を決めていきます。創意工夫が問われる作業です。



● 有害獣の町内一斉捕獲に参加

町から任命された実施隊員が一堂に介して、有害獣が潜んでいる棲息地に、猟犬と共に入って「巻狩り」を実施します。猟犬が追い込んだイノシシ、シカ、キョンが立ち位置に逃げてくるのを待って、散弾銃で仕留めるという流れで行われます。



● 大型の囲いわなで一網打尽

対象となる有害獣の中にニホンザルとアカゲザルが含まれます。ヒトと近い種族ですが、群れで行動するという特徴があります。それを活かした囲いわなを町有害鳥獣対策協議会が数台購入。町民の方々の協力で組み立て、餌付けから捕獲までの全てを行っています。



連絡先

基本情報



【年齢】
50歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前職】
フリーランス
【活動時期】
R2.8～ R5.8
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

地域振興、主に木質エネルギーの地産地消システム構築にかかる調査や計画策定、研究等に従事し、また趣味のトレランを通じて、かねてより森林の保全・活用への関心は高かった。コロナ禍の行動制限中、新常态において生活様式等が大きく変わる可能性を感じ、地方への移住を考えるに至った。そうした中、これまでの知見等を活かせるような本案件を見つけ、書類を送付し、派遣先の代表者らとオンラインでの意見交換等を通じて、森林の再生と資源活用に対する考え方が自分に近いと感じ、入隊を決意した。

今後の抱負・任期後の目標

派遣先企業で準備に携わった新規事業（薪炭事業）で、スタートアップ時の生産業務に携わりつつ、事業を軌道に乗せ、事業規模を拡大するための経営や営業にも関わることを見込んでいる。
また、個人事業として、同社の従来から事業であるジビエ加工品を活用（低廉で仕入れ）するとともに、天城のクロモジ等の山野草木を活用したカフェ・バル事業の実施を構想しており、必要になる資格の取得や協力者とのネットワーク構築を進めている。

活動内容

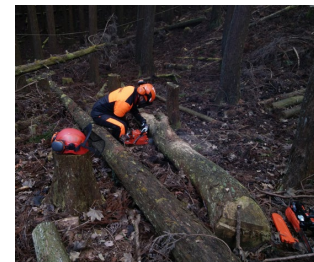
①二ホンジカの管理捕獲、及び屠体の資源化の強化

派遣先NPOが受託する県の二ホンジカ管理捕獲業務の捕獲（罾猟）に従事し、当該業務の安全強化策の提案と普及に努めている。また、駆除屠体の資源化率向上と、屠体の活用部位ごとの資源化にかかる商品開発、新規の販路開拓等に関与しており、特に赴任時に未利用だったシカも商品化し、資源化率はほぼ100%になった。



②未利用人工林の天然生薪炭林への転換

派遣先NPOでは管理が不十分な人工用材林を、シカ防除をしながら薪炭林に転換し、薪生産する構想を持っている。そのため、他のメンバーに先駆けて最低限の林業技術の講習を受け、技術習得に努めた。しかし、NPOの計画する規模の森林管理は未定で、活用可能な狭小な森林の整備を進めている。



③薪炭生産事業の計画づくりと実施に向けた準備

②が滞っているが、当面は原料に主に支障木等を用いた薪生産に、バイオ炭生産を付加した事業計画を作成するとともに、導入技術の選定、資金獲得（経産省補助金）等を支援し、さらに大学等との連携体制の構築を手掛けた。2022年内には、設備導入等の準備が整い、年度内に試運転等の準備を実施予定。



連絡先

基本情報



【年齢】
52歳
【出身地】
東京都府中市
【転出元】
兵庫県伊丹市
【前職】
製造業
【活動時期】
R3.4～R6.3
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

2点あります。

1. いつか祖父の住んでいた愛媛へ帰ろうと思っていたこと
2. 令和2年の夏頃に偶然今治市広報を閲覧して募集を知ったこと

今後の抱負・任期後の目標

猪の捕獲を安全に実行できること。島内の害獣被害を減らすことを目指して地域貢献に努めながら島で暮らして生きたい。

活動内容

●活動内容：島の歴史を探り暮らし方を学ぶ

昭和時代の島暮らしを聴いたり、最近の暮らし方(困っていると感じたこと・伯方らしい風景を眺めて居心地の良さを感じたこと)から自身の今後を考える



●活動内容：有害鳥獣捕獲

伯方島での猪の捕獲の為に罠を仕掛けたり、捕獲個体の肉を食することで島民被害の削減に協力している



●活動内容：猪狩猟活動

現在生息する猪をターゲットとして島内の猪捕獲場所情報を取集中である。猟期に情報を基に実績を挙げることを目標に銃と罠の使い方を学習中である。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) i22589@imabari-city.jp (電話番号) 0897-72-1500

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

なし

基本情報



【年齢】
55歳
【出身地】
愛知県一宮市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前職】
会社員・宮内庁
【活動時期】
R3.12～R6.11
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

私事にて、長崎国際大学に勤める「茶道学」の友人に毎年訪問して交流。その際、「日本一のそのぎ茶」や「歴史遺産」などの魅力がある一方で、全国認知がなされていないと聞き及んだ事がきっかけとなります。

「そのぎ茶は、日本一おいしさという強みがあるが、新規や富裕層マーケティングが弱い。人口減の課題を抱えている。」と聞き、民間で培ったスキルが役立つかと考え応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

写真化学・デジタル複写機製造業の広報経験に加え、宮内庁皇室写真の撮影業務実績やドローン操縦スキルを生かし、映像用いて感動と価値を伝える。

◆手法

- ・Instagram/Facebookなどを効果的に活用する。
- ・町内向け発信に加え、海外向けの発信も実施。
→ 国内全国と海外へ伝わる外向け発信で伝播させる

◆任期後の目標

- ・映像スキルを駆使し、町内外へ向けてビジネスする。

活動内容

●特産「そのぎ茶」拡販と町の認知向上に資する活動

- * 茶生産者の取組みを視察・お困り事への支援
 - ・若手茶園とSDGs専門家を繋ぎ、意見交換。
 - ・日本茶は欧米中等の高評価あり輸出好調。
- * 競合との差別化策/肥料高騰状況を把握
 - ・大手伊藤園の宇治茶等との差別化をどう図るか？
 - ・SDGs面での認知向上について社長と意見交換。



●環境を配慮しつつ交通利便性をプロモ

- * 長崎県の中心にある東そのぎインターは、長崎空港/西九州新幹線を繋ぐHubです。
- * 郷愁の「千綿駅」では素晴らしい夕陽と豪華列車が走り、日々人が訪れています。これらを国内外にプロモしています。



●移住潜在層に向けNHK番組出演&制作

- * 東彼杵町役場の職員と協力隊の森島、斎藤が、NHK番組「いいいじゅー」に出演。元職業カメラマン森島は、NHKさんヘドローン映像等を提供し、ほぼ全国へ放送される活動を実施。
※写真は放送時のものです→



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

長崎県 東彼杵町役場 総務課
地域おこし協力隊 森島 剛 (ニックネーム: モリッシー)
電話: 0957-46-1286
E-mail: t.morishima@town.higashisonogi.lg.jp
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/higashisonogi_official/?hl=ja



基本情報



【年齢】
56歳
【出身地】
京都府宇治市
【転出元】
埼玉県朝霞市
【前職】
行政保健師
【活動時期】
R3.12～R6.11
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

綾部市への移住を考える中でコミュニティナースの存在を知り、自分のこれまでのキャリアを生かせるのではないかと考えた。

今後の抱負・任期後の目標

地域の人々と信頼関係を築くなかで地域の健康づくりと一緒に考えていきたい。

活動内容

● コミナスの部屋

- ・各地区の最寄の公会堂や集会場を借りて地域の方が気軽に集まれる場所、健康を生み出す場所づくりの創出
- ・地域の方ならどなたでも参加可能（赤ちゃんから高齢者まで）



● 個別訪問・健康相談

- ・個別のアプローチとして関わりをもち時間をかけて健康や暮らしについて傾聴していく。必要時は専門機関への情報共有を行い、切れ目ないフォローを目指す。

● 地域行事への参加

- ・行事や地域サロンへ参加し、様々な生活の場面で出会うことで多面的に生活様式をアセスメントし健康行動につながる関わりを目指す。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) nn-nabeshima@city.ayabe.lg.jp
(電話番号) 0773-54-0095
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Facebook) <https://www.facebook.com/communitynurseayabe/>
(綾部市HP) <http://www.city.ayabe.lg.jp/teiju/kenko/cn/index.html>

基本情報



【年 齢】
60歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
北海道札幌市
【前 職】
富士通株式会社
プロジェクトマネージャ
【活動時期】
R4.8～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

これまで大規模なシステム開発における、ソフトウェア開発及び、開発マネジメントに従事してきました。多くの人に役立つもの作りに携わることで、自分自身の使命感及び、社会的責任を感じてきました。これまでは首都圏での業務が中心でしたが、地場である北海道の地域活性化に（地域貢献）携わりたいという意識を常に持っていたこともあり、この度募集のあった本件に、自分の持つ経験やスキルが活用できるのではないかと考え応募致しました。

今後の抱負・任期後の目標

自分の持つスキルを次世代を担う多くの人に伝え、地域のビジネス拡大や、暮らしの利便性向上に役立てたい。任期後の生活については、活動開始直後ということもあり、多くの情報を集めてからじっくりと考えていきたい。

活動内容

●幕別町電子地域通貨のシステム導入支援

SEの立場で、サービス要件やシステム仕様及びシステム構築に必要な、設備・運用などの設計及びベンダー向けの対応を実施しており、全体をPMOも含め側面から支援している。
(幕別町商工会へ出向し、商工会の立場での業務を行っている)

●商工会事業者向けの対応

商工会参加事業者向けに、電子地域通貨導入に向けた技術的な説明および、技術サポートを実施
地域の利便性向上に向け参加していただく事業者への依頼と、個々の課題事項解決に向けたアドバイスなどを適宜実施している

●地域イベントへの参加（支援）

幕別町に訪問された旅行者向けのイベント等に参加し、イベントなどの運営をサポート

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) shokokankoka@town.makubetsu.lg.jp
(電話番号) 0155-54-6606

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(なし)

基本情報



【年 齢】
60歳
【出身地】
山口県下関市
【転出元】
熊本県熊本市北区
【前 職】
SE
【活動時期】
R4.3~
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

前職の仕事で当村を訪れるたび、球磨川、市房山などの自然と村民の優しさにふれ、定住を意識するようになり協力隊での活動を希望した。

協力隊での活動を通じ、村の文化、歴史、地理を理解すること、協力してイベントなどを実施することで、村民との信頼関係の構築に役立つと感じたから。

今後の抱負・任期後の目標

職歴である情報処理技術を利用し、村内の観光や施設などの資源の整理を行い、情報発信を行うことで村内での有効利用と観光客、移住者の誘致に向けた取り組みを行っていきたい。

また、趣味である写真撮影や天体観測、工芸品の製作をITと融合することで、今後の個人事業の主体として村内での起業すると共に、関連企業の誘致を目指したい。

活動内容

●市房山登山記録簿

現在手書きで行っている登山者の記録簿入力を、QRコードを利用したウェブページでの入力を可能とすることで登山記録の入力比率を増やし、非常事態が発生した際の初動対応に有効な情報とする。

ー 現在、評価試験中

●空き家対策データベース

村内にある空き家（廃屋、放置住居）を、損傷状況や危険度などの情報と所有者の連絡先などを整理することで、防災・防犯対策や今後の移住者支援などの活用に向けた取り組みとする。

ー 現在、基礎データ作成中

●地図情報と連携した観光・施設情報サイト

村内にある観光スポットや物産・飲食・宿泊業と、祭りや観光イベントなどを時間軸・地理軸と連携させることで、観光案内や情報発信に利用し、観光客・宿泊客の増加に向けた取り組みを行う。

ー 現在、評価試験中

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) mitoda@vill.mizukami.lg.jp

(電話番号) 0966-44-0312

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

庁内用のウェブページのため非公開

基本情報



【年 齢】
51歳
【出身地】
東京都板橋区
【転出元】
東京都豊島区
【前 職】
地方公務員
【活動時期】
R4.5～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

以前から、東御市在住エッセイストの玉村豊男さんのライフスタイルへの憧れがあり、いつかは写真集の風景にあった東御市で生活したいと考えていました。情報収集する中で、東御市では多くの分野で協力隊員が活躍していることを知り、地元の方々との交流の機会を得やすいのではないかと思います、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

担当業務である「火のアートフェスティバル2022」が終了しましたが、来年は、地元の方々を中心により一層親しみを持っていただき、楽しんでもらえるイベントにしたいと思っています。任期後は、休日に勉強中であるワインブドウ栽培や地元の方々と交流できるような副業で生活していきたいと思いません。

活動内容

●学校陶芸教室

市内15の保育園、幼稚園、小学校、中学校において地元陶芸グループの指導のもと、協力隊員が従事して学校陶芸教室を実施した。子ども達が制作した作品は、火のアートフェスティバル2022において登り窯で焼成した。



●スケッチ大会におけるワークショップ

市が運営する丸山晚霞記念館が例年企画しているスケッチ大会において、東京家政大学監修のもと、協力隊員が羊毛で飾りを制作するワークショップを実施した。



●火のアートフェスティバル2022

10月8、9日の2日間、開催された標記のイベントにおいて、各種催事があるなかでも、協力隊員は、主にワークショップ、陶芸、30周年記念事業の關係の企画に従事し、多くの来場者を得た。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

bunka@city.tomi.nagano.jp (電話番号) 0268-71-0670

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram <https://www.instagram.com/hinoart.festival.o/>
Twitter <https://twitter.com/hinoartfestival>
note <https://tomi-city.note.jp/> (火のアートフェスティバルに係る記事2つ)

基本情報



【年齢】
59歳
【出身地】
長野県 飯田市
【転出元】
長野県 飯田市
【前職】
飯田市役所 職員
【活動時期】
R3.4～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

地球温暖化防止や自然環境保全の活動をライフワークとする中で、日本の森林にて持続可能な活用をしていくことが急務と認識し、木のおもちゃ(けん玉など)や地域産材の利用(住宅建築・増改築等)を促し普及してきました。

東京おもちゃ美術館にておもちゃ学芸員として活動に関わった際、木曾町に「ふるさと体験 木曾おもちゃ美術館」が開設すると知り、木曾においても活動したいと思って通っていたところ、美術館の開設など担う地域おこし協力隊の募集があったので応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

2022年11月19日オープン「ふるさと体験 木曾おもちゃ美術館」が問題なくスタートできること、指定管理者(NPO法人)の運営が順調にいくこと、来館者が増えることが大事で、そのために必要なことをサポートします。

任期後の立場は不透明で、美術館の指定管理者が自分を必要な人材とするか否かにより分かります。必要とされた場合は勤務条件を確認して就業しますが、必要なくなれば、別の仕事に就きながら、おもちゃ学芸員というボランティア活動を継続して美術館を支援していきます。

活動内容

●ふるさと体験 木曾おもちゃ美術館、開設と企画運営

木育と木曾の伝統文化を体験で伝える木曾おもちゃ美術館。そのボランティアスタッフ「おもちゃ学芸員」の養成講座を昨年から5回開催し計103名が登録になりました。10月9日の出発式にて赤エプロンが授与されいよいよオープンします。四季折々の催事とおもちゃを組み合わせる運営を展開します。



●木育人材の育成・連携に関する業務

おもちゃコンサルタントやけん玉講師として「おもちゃの広場」を開催し、主に子供たちを対象に木育を推進するとともに、地球規模の自然環境保全を普及啓発しています。環境保全と地域経済が好循環になる仕組みも模索しながら、木に関わる人々を増やしていく必要性を啓発しています。



●定住及び交流の促進に関する活動、企画、イベント

自宅を「サードプレイス・ゲストルーム ペチカんず木曾」として令和3年7月から運営しています。青少年の情報交差「店」という位置づけですが、親子連れや一般の方も利用されます。

令和4年10月から「信州こどもカフェ」いわゆる子ども食堂を週1回開催していきます。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(インスタグラム) <https://www.instagram.com/stories/pechikanz.kiso/>
(フェイスブック) <https://www.facebook.com/michinori.ikedo/>

基本情報



【年齢】
59歳
【出身地】
三重県名張市
【転出元】
三重県名張市
【前職】
書籍、月刊誌などの編集・デザイン
【活動時期】
R4.4~
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

山林の暮らしの歴史・文化に興味があり、「歴史と文化を生かした活動」という募集要項が、自分のスキルを活かせると思ったため。新潟県十日町市で限界集落の話を取りし、書籍にした経験を生かし、上北山村の歴史や文化を記録できると考えた。

今後の抱負・任期後の目標

村の歴史家の方や教育委員会と相談し、村民が村の歴史を再度認識して誇りを持てるような冊子を編集します。また、村で昔から活用されてきた花木や植物を見直し、山の価値を見出し、特産品を開発します。

任期終了後は、観光案内、特産品や食品の販売、体験プランの企画、情報発信など、自分のスキルを生かした複数の仕事で収入を得られるモデルを作りたい。

活動内容

●村の歴史・暮らしの冊子制作

学校の社会科副読本制作のサポートを行うとともに、村民向けに歴史・文化・暮らしについてまとめた冊子を制作予定。村の歴史家、教育委員会と企画進行中。

●過去の16ミリ、8ミリビデオの放送

かけ橋プロジェクトの一環として教育委員会に保管されていた昭和時代の16ミリ、8ミリビデオを編集し、ケーブルテレビで毎月放送している。また、ケーブルテレビで放送した映像を歴史家の解説とともにスクリーンで放映するイベントを行う予定。

かけ橋プロジェクト・・・村史や村の書籍の内容を紹介し、広い世代に村のことを知ってもらい、過去と現在のかけ橋とする

●特産品の開発、官学連携プロジェクト

農産物などが少ない村なので、村の特産品が少ないが、トチノミやお茶、山野草、クロモジやヒノキなどを使った食品や日用品の開発を村のNPO団体と企画している。また、官学連携の森林プロジェクトに参加し、森林を生かした活動、昔の暮らしを体験する体験プランなどを企画。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(上北山村地域おこし協力隊&支援員Facebook)



基本情報



【年 齢】
67歳
【出身地】
福岡県久留米市
【転出元】
福岡県久留米市
【前 職】
音楽指導者
【活動時期】
R3.4.1～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

浜田市が取り組もうとしている「音楽を核とした定住促進事業」の業務内容に共感し、応募した。

浜田市HPから募集情報を収集した。また、石見地域で音楽活動を行っている一般社団法人石見音楽文化振興会からも情報を収集した。

今後の抱負・任期後の目標

音楽指導者向けの講習会や、市民対象の音楽塾など、音楽に触れる機会をもっと増やし、地域を音楽の力で、盛り上げたい。

活動内容

①音楽を核とした定住促進事業

市に移住した若手音楽家に対して、演奏技術と音楽指導技術の向上を目的として音楽指導を行った。

特に、これまで東京都からプロの演奏家を呼んで開催していたスクールコンサートにおいて、音楽指導を行い、学校の教育方針に沿った演奏会の実施に寄与した。

また、定期演奏会においては、若手音楽家と浜田高等学校吹奏楽部との共演の機会を作るなど、音楽指導技術の向上に尽力した。



②音楽愛好家や音楽活動団体等との交流促進

新型コロナウイルス感染症の影響により、市民参加型の音楽演奏会などの予定している取組が未実施の状況。

③市内の中学校及び高等学校吹奏楽部の演奏技術と指導技術の向上

市内の中学校、高等学校、大学の吹奏楽部の指導を行い、音楽スキルの向上に尽力した。

特に、浜田高等学校吹奏楽部は、昨年引き続き、県大会において金賞を受賞し、高校魅力化の一助となった。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度に比べると活動の機会は減少した。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

浜田市定住関係人口推進課

(メールアドレス) teiju@city.hamada.lg.jp

(電話番号) 0855-25-9511

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

藤重佳久のブログ : <https://ameblo.jp/fujisige1228/>

石見音楽文化振興会HP : <https://iwamiongaku.jp/>

基本情報



【年 齢】
57歳
【出身地】
長崎県 大村市
【転出元】
長崎県 長崎市
【前 職】
学習塾経営
【活動時期】
R3.11～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍による経営不振のなか、離婚などを経験して睡眠障害を患ったために転地療法を含めて、決心をしました。16年間学習塾の経営を行っており、思春期の子供たちの成長を見守ってきたので、その世代に対しての事業を探しており、この「ふるさと留学事業」のハウスマスターという職種に出会いました。

今後の抱負・任期後の目標

この1年を経過してこの事業の特殊性を痛感しております。離職率が高い部分をいかにクリアして後進を育てていくことが肝要と思います。個人的には3年後の任用後も継続していく選択肢もありますが、島内で島Caféか古民家活用の事業を始める所存です。

活動内容

●朝食・ランチ担当

趣味が料理ということもあり、夜勤時には朝食を準備しています。時々には調理人が手配できないこともあり、その場合はランチなどを提供しています。また台風などの緊急時も食事の準備をしています。



●留学生アクティビティ

離島という特性もあり、マリンスポーツも盛んなので、夏の体験としてダイビングをしたり、また島で陶芸の窯もあるので、寮生とそれぞれのアクティビティに引率し、体験を共有しています。



●地域行事への参加

都会から来ている留学生なので、地域との連携もあって、海岸清掃や餅つき大会など、都会では見慣れない行事にも引率して、積極的に参加しています。



連絡先

基本情報



【年 齢】
52歳
【出身地】
東京都八王子市
【転出元】
千葉県船橋市
【前 職】
国税職員
【活動時期】
R4.4月～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

鹿児島県での生活を視野に、住居を探しにさつま町を訪れていたところ、さつま町役場の職員から「地域おこし協力隊員」として高校魅力化コーディネーターを募集しているので応募してみないかとの声掛けがあった。町HPで活動内容や求める人物像を調べてたところ、自分のこれまでの経験が生かせる、やり甲斐のある仕事であったことから思い切って応募した。

今後の抱負・任期後の目標

当面は高校魅力化に繋がる活動に精一杯取り組み、地域みらい留学生や本校の生徒たちの高校生活がより充実するように、そして将来この町を担う人材に成長するように、支援をしていきたい。
任期後においても、さつま町で元気に暮らし、地域の支援を必要とする子供たちや高齢者への支援活動をしていきたい。

活動内容

●地域みらい留学365（高2留学）生徒募集活動

内閣府の「地域みらい留学」（都市部の在籍校と地方の高校とが連携して、高校2年生に1年間地方で学び、都市部ではできないことを経験してもらい関係人口を増やす事業）の採択校として生徒募集のための全国オンライン説明会を開催。現地での学校見学会では留学を希望する生徒、保護者をアテンド。



●町や地域、高校での人間関係づくり

町（行政）と地域（住民）、高校（生徒・教師）の、各方面で人間関係を築きながら、自分のすべきこと、求められていること、したいことを一つずつ周囲を巻き込み実現。

●HPやFacebook等のSNSを活用した情報発信

高校HP上でのブログを、より多くの人目に触れ知名度を上げることを目的に、高校のFBアカウントでも発信することにした。
また、協力隊のアカウントでは【高校魅力化コーディネーター】としてブログとは少し角度を変えて学校の魅力を発信中。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) satsumacho.coordinator@gmail.com
(電話番号) 0996-53-1111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Facebook) <https://www.facebook.com/satsumachiikiokoshi>

